

嘉麻市立図書館システム賃貸借業務 仕様書

1. 賃貸借

1-1. 件名

嘉麻市立図書館システム賃貸借業務

1-2. 契約方法

嘉麻市（以下、「市」という）、システム環境構築事業者（以下、「構築業者」という）及び構築業者が選定するリース会社との三者契約とする。

1-3. 賃貸借物件

賃貸借物件は、本仕様書に定めるとおりとする。

1-4. 納入場所

名称	住所
嘉麻市立山田図書館	福岡県嘉麻市上山田 1347 番地 10
嘉麻市立稲築図書館	福岡県嘉麻市岩崎 1141 番地
嘉麻市立碓井図書館	福岡県嘉麻市上臼井 767 番地
嘉麻市立嘉穂図書館	福岡県嘉麻市大隈町 1228 番地 1

1-5. 賃貸借期間

令和8年10月1日から令和13年9月30日までとする。契約日から本調達機器の賃貸借期間の始期までの間は、システム導入に係る準備期間とし、始期までに本仕様書の内容を満たし、ユーザが問題なく使用できる状態に設定したものを配置すること。なお、その間の費用支払いは生じないものとする。

1-6. 支払い方法

支払いは月末締め翌月払いとし、支払回数は60回の均等払いとする。なお、金額を計算するにあたり、1円未満の端数が生じた場合、端数分は最終月に支払うものとする。また、賃貸借料は毎月最終日経過後、市に請求書を提出し、市は受理した日から30日以内に支払うものとする。

1-7. 賃貸借期間満了後の措置

賃貸借期間満了後、リース会社により引取を行う。ただし、再度賃貸借契約を締結した場合は、当該契約期間終了後に引取を行うこととする。引取対象機器は、市の指定する場所に撤去されているものとする。なお、賃貸借機器に搭載されたハードディスク等の記録領域は、市で論理的または物理的に消去破壊することを許容する。

1-8. その他

本賃貸借物件は構築業者の固定資産税課税客体となる。動産総合保険に加入し、費用負担は構築業者が負担する。

2. 本調達背景と目的

本市の図書館は、市内に4館あります。情報化社会に対応し、市民サービスの充実を図るため、幅広い資料・情報を的確に把握し、迅速に提供する手段として、図書館システム（以下、「システム」という）を利用した図書館運営を行っています。しかし、システムの機器及び周辺機器の老朽化により、システムを安全に運用することが困難な状況となっています。また、子どもの読書活動推進として、第3次嘉麻市子ども読書活動推進計画を策定し、家庭・地域・学校・市立図書館それぞれが連携・協力しながら、子どもの読書活動を続けていくことができるよう、取り組みを行っています。

このような背景から、システムの安定稼働に加え、高度化する情報機器や住民ニーズへの対応を行うために図書館システム及び機器等を調達するものです。

今回の更新では、現行システム同様引き続きクラウド型（SaaS方式）「以下、次期システムという。」とそれに対応できる機器及び周辺機器を導入する総合的な提案を募集します。なお、見積りについては、次期システム導入に係る一切の費用全て次期システムへのデータ移行費用、次期システム導入及び稼働に係るライセンス費用なども含む）を計上することとします。また、見積り限度額は、「嘉麻市立図書館システム賃貸借業者選定要領」を参照してください。

3. 導入時期及び納入場所

3-1. 導入時期

システム稼働は令和8年10月1日とする。次期システムの移行作業は図書館休館期間（令和8年9月上旬から9月下旬までの期間を予定）を設けているが、搬入及び設定の日程に関しては別途協議の上決定する。令和8年9月28日から3日間の内部稼働、10月1日の住民向け開館を円滑に行えるように支援をおこなうこと。

3-2. 納入場所

以下に、業務実施場所を記載する。

図書館名及び所在地	開館時間／休館日
山田図書館 〒821-0012 福岡県嘉麻市上山田1347番地10 TEL:0948-53-1143 FAX:0948-52-1811	開館時間 火曜日～土曜日 午前10時～午後6時 日曜日、祝日 午前10時～午後5時 休館日 毎週月曜日（祝日のときは、その翌日）
稲築図書館 〒820-0205 福岡県嘉麻市岩崎1141番地 TEL:0948-42-7046 FAX:0948-42-1366	開館時間 火曜日～土曜日 午前10時～午後6時 日曜日、祝日 午前10時～午後5時 休館日 毎週月曜日（第4月曜日以外の月曜日が祝日のときは、その翌日）

碓井図書館 〒820-0502 福岡県嘉麻市上臼井767番地 TEL : 0948-62-5174 FAX : 0948-62-5167	開館時間 火曜日～土曜日 午前10時～午後6時 日曜日、祝日 午前10時～午後5時 休館日 毎週月曜日（祝日のときは、その翌日）
嘉穂図書館 〒820-0302 福岡県嘉麻市大隈町1228番地1 TEL:0948-57-3610 FAX:0948-57-3661	開館時間 火曜日～土曜日 午前10時～午後6時 日曜日、祝日 午前10時～午後5時 休館日 毎週月曜日（第4月曜日以外の月曜日が祝日のときは、その翌日）
各館共通の休館日： 年末年始（12月29日～1月3日）、 図書整理日（毎月第4木曜日（祝日のときは、その翌日）、1月4日）図書特別整理期間（年間15日以内）	

4. 対象データについて

4-1. 基礎数値 図書館基本情報（令和6, 7年度）

以下の数値を踏まえ、快適な反応と処理速度を維持し、最低5年間の使用に十分耐えうる容量を積算し本市に納入すること。

年度	蔵書冊数	個人貸出冊数	団体貸出冊数	予約冊数	登録者人数	市人口
6	285,054 冊	116,350 冊	8,538 冊	13,309 冊	17,846 人	33,862 人
7	277,461 冊	103,982 冊	8,285 冊	11,963 冊	18,138 人	33,081 人

4-2. 使用MARCについて

TRC MARC/Tタイプを使用する。なお、現行システムはTRC MARC/Tタイプを使用している。

4-3. NDCについて

現在のNDC 9版を次期システムに導入後も継続して使用するが、将来10版に更新する場合は無償で対応すること。

4-4. 現行システムのデータを次期システムへ移行

(1) 対象となる主なデータは、以下のとおりである。

- ①書誌情報
- ②蔵書情報
- ③利用者情報

④その他データ（貸出、予約、発注データなどの動態情報）

⑤各種の設定情報等

⑥統計情報

(2) 現行システムから次期システムへの移行に関しては、現行システムから 4-4. (1) のデータを抽出し、全データを新システムへ移行するものとする。

現行システムからのデータ抽出は、現行システムのデータ形式にて現行システム業者が実施するものとする。

次期システム受託者は、現行システム業者から受領したデータを次期システムの受入データフォーマットに適合するようデータ変換および必要な調整を行い、新システムへの移行作業を実施すること。

なお、現行システム業者に支払うデータ抽出にかかる費用は市から現行システム業者に支払うものとする。

(3) データ移行においては、以下の点に注意して作業を実施すること。

①図書館要覧等の年報作成に関しては、年度途中のシステム切り替えである点を考慮して、当年度分の統計データが年度末に現行フォーマットにて、一表で滞りなく集計（出力）できること。一表で集計（出力）できない場合は、移行当年度分の統計データが滞りなく集計できるよう支援すること。

②データの移行が正常に行われているかどうか、受託者が全データを確認し、市に報告すること。

③データ移行に不備が発見された場合は、受託者が責任を持って再移行を行うこと。

④移行データについて、市から問い合わせを受けた場合は、移行前後のデータを速やかに比較するなど調査に協力すること。

⑤現行システムからの確実なデータ移行を行うため、データ移行テストは 2 回以上実施すること。

⑥現行データ抽出後の図書館から IDC へのデータ搬送について、個人情報が含まれるため、セキュリティを十分に確保すること。

⑦データ移行は検証も含め、休館期間中に蔵書点検を行う期間を残し、完了すること。

(4) システム入替に伴う休館については「3-1. 導入時期」に記載。

(5) 資料バーコード、図書館利用者カードは既存のものを継続利用する。

(6) ネットワーク（館内 LAN、情報公開、分館接続）は既存のものを継続利用する。

(7) 本市との協議の上、既存機器を流用する場合は継続利用に必要な措置を行うこと。

(8) 図書館利用者カードはバーコードで利用できること。

5. 機器構成及びネットワーク要件について

5-1. 機器性能要件

各機器の仕様・性能要件は、別紙1 調達機器仕様を参考とし、提案パッケージに適した機器での提案を認める。但し、基本的に提案は記載の水準以上の製品とし、性能が不十分な機器を提案した場合は機器変更を指示する場合がある。

5-2. 機器構成

機器構成及び台数は、「別紙1 調達機器仕様」のとおりとする。提案時における最新モデルで提案すること。

参考資料：「別添-機器構成図 現行システム次期システム（イメージ）」

5-3. ソフトウェア

構成及び数量は、「別紙1 調達機器仕様」のとおりとする。提案時における最新モデルで提案すること。

5-4. ネットワーク要件

- (1) 設置機器のネットワーク設定は、ユーザーサイドの反応、セキュリティ対策等、十分な知識と経験を有した者が設定すること。
- (2) クラウドセンターへの接続は、本市で契約するインターネット回線を使用しても構わないが、各図書館の間は、共有フォルダ等を相互に利用する為、閉域網のネットワークとする。但し、提案システムで推奨する別回線や専用線等がある場合には必ず提案書に明記し、必要経費は60ヶ月分を見積価格に含めること。
なお、本市で契約するインターネット回線を利用する場合、その費用は受注者が支払うこと。その費用についてはNTT北九州支店に確認し、見積に含めること。
- (3) インターネットプロバイダメールアドレス、ドメイン等に関しては受注者にて用意すること。
- (4) 利用者開放端末と業務用端末はセキュリティの観点からセグメント分割してネットワーク構築を行うこと。
- (5) 原則として各機器は現行システムと同じ場所に設置するが、軽微な場所変更があった場合には必要に応じて末端の配線作業を行うこと。

6. 図書システムに求める機能について

6-1. 基本要件

提案システムは、図書館の業務全体を処理できるトータルシステムであり、現在の図書館で行っている業務を概ね満たしていることを基本とする。また、現在使用している利用者カードと、資料に貼付しているバーコードが引続き使用できること。

オンライン処理の平均応答時間について、以下の要件を満たすこと。なお、平均応答時間とは、IDCにおいてサーバで要求を受けてから、システム内で処理完了後、その応答電文がサーバから回線に出力されるまでの時間とする。

(1)業務サーバ

- ・資料検索処理における検索項目入力時の平均応答時間が、概ね5秒以内であること。
- ・照会処理における平均応答時間が、概ね5秒以内であること。
- ・更新系処理における応答が、概ね7秒以内であること。
- ・貸出処理において、1,000件/時間の処理が無理なく実施できること。

(2)WWWサーバ

- ・資料検索処理における検索項目入力時の平均応答時間が、概ね5秒以内であること。
- ・照会処理における平均応答時間が、概ね5秒以内であること。
- ・貸出、返却等の情報はリアルタイムで更新されること。

6-2. 現行システム機能

システムが対象とする業務は、以下のとおりとする。

- (1)窓口奉仕業務……………貸出、返却、予約等
- (2)利用者管理業務……………利用者登録、修正、検索、除籍等
- (3)資料管理業務……………資料検索、督促等
- (4)目録業務……………登録、修正、原簿作成、除籍等
- (5)収書業務……………選書、発注、受入等
- (6)館内OPAC……………蔵書検索、配架図案内、予約、新着一覧、貸出ランキング等
- (7)インターネット検索……………蔵書検索、予約、新着一覧、貸出ランキング等
- (8)統計帳票業務……………利用統計、貸出統計、年度報告、日本図書館協会報告、県内公共図書館調査報告等
- (9)蔵書点検業務……………蔵書点検、不明本リスト出力、棚違い検出等
- (10)図書館ネットワーク監視
……………メールによるコンピューターウイルスをはじめとするマルウェア等の検知機能及び、月次のセキュリティレポート提出

6-3. 新システム機能

(1)ホームページのリニューアル ……

現行ホームページのイメージを刷新する。職員がタイムリーに更新できるCMS機能をクラウドサービスで提供すること。
また、時間指定で編集した内容に書き換わる機能をもっていること

(2)蔵書検索返答機能 ……

(1)のホームページ内にロボット返答機能を追加すること。
図書館システムとデータ連携して蔵書データを検索することとし、

結果を返すこと。また検索結果はWEB OPACに遷移させること。

6-4. システム機能要件

次期システムの機能については、システム対応の可否について「別紙2：システム機能回答書」を提出すること。

6-5. 新規機能（独自提案事項）

新システムでセキュリティ、職員業務効率化や利用者の利便性向上、読書活動の活性化というテーマで特に効果的と考える機能があれば積極的に提案を行うこと。

但し、本事業においては予算上限を超える提案を採用することは困難であるため、提案書には見積範囲内か、将来拡張提案であるかを明示すること。いずれの場合であっても評価の対象にはなるが、当然今回の予算範囲での実現性を念頭において総合的に判断することになる。また、優先交渉業者として詳細協議をする中で、提案内容の取捨選択により再見積を指示する場合があるので柔軟に対応すること。

7. セキュリティ要件について

7-1. セキュリティ管理の基本的な考え方

本システムは、個人情報を取り扱うことになり、より高いレベルのセキュリティ対策が必要であるため、嘉麻市情報公開条例、嘉麻市個人情報保護条例、嘉麻市情報セキュリティポリシーにそれぞれ十分に配慮したシステムを構築すること。

7-2. 求められるセキュリティ対策

- (1) クラウドシステムを運用するデータセンターの設備要件について別紙3を参照すること。
- (2) クラウドシステムに関するサービス・セキュリティ要件について別紙4を参照すること。
- (3) データ通信のセキュリティ（暗号化）はTLS1.2若しくはVPNを利用して暗号化すること。
- (4) 業務端末からシステムを利用する際はパスワード認証を必要とすること。
- (5) 利用者向け閲覧端末からWindowsの管理部分及び、光学ドライブ等の各ポート使用を制限できること。
- (6) システムの個人情報領域へのアクセスについては、ログ履歴を蓄積し、万が一のトラブル発生時に本市職員自らが検索・出力を行い追跡できる仕組みを用意すること。
- (7) Web公開サーバには情報漏洩や改ざんを防ぐために個人情報を保管しないこと。
- (8) 個人情報を管理するデータベースには暗号化を施すこと。
- (9) J-LISなどによる脆弱性診断によって、改善事項が指摘された際には迅速に対策を講じること。
- (10) 各種機関から公表される脆弱性情報に注意し、随時対策することで安全性を維持すること。

8. システム構築・導入支援について

8-1. 構築SE体制

プロジェクト体制には、同システムの構築実績があり、提供システムに精通するSE担当者を含めて体制を整えること。メンバーの責任・権限・実績を提案書に記載し、問題等発生時の対応体制及びその責任者名を明確にすることで通常及び緊急時において迅速な対処を可能とすること。

8-2. 操作研修

システム導入時には本稼働前に職員が自由に操作練習できる環境を用意するとともに、操作を問題なく習得できるよう、十分な操作研修・支援を実施すること。想定する操作研修の手法については提案書に記載すること。

8-3. 本稼働支援

内部稼働、開館の支援として、導入作業を担当した者が中心となり、図書システムに精通した技術者（SE）が立ち会いを行うこと。

8-4. 留意事項

- (1) 次期システム導入に伴い必要となる機材・ソフトは受託業者にて調達すること。
- (2) 搬入、据付、配線、調整、既設設備との接続に要する全ての費用は本調達に含まれる。
- (3) また、導入業者は機器の導入後5年経過後、機器のデータ消去作業を無償で行うこと。

9. システム運用・保守について

9-1. システム運用支援

- (1) 県内にSE拠点を置き、図書システム構築と同じメンバーでの運用支援を行うこと。運用、変更に際しての図書館からの相談、質問に全面的に支援できる体制であること。
- (2) 図書システム運用に必要なマニュアルを整えること。
- (3) コールセンターを設置し、土日祝日・夜間なども含め、連絡ルートを確立すること。またトラブル時の対応については、図書館と協議し早期復旧に努めること。
- (4) 各館（4館）への蔵書点検時は、点検開始時に各館への訪問サポートを実施することし、不明本確定の更新作業においては必要に応じて現地訪問サポートを実施すること。年度統計出力等のイベント時には都度の問合せ対応等の運用支援を行うこと。
- (5) 蔵書点検期間には、最小7台、最大20台程度のハンディ端末を無償で借用できるようにし、ハンディの借用及び返却の運搬や設定変更も行うこと。
- (6) 電話／メールによる相談、運用条件変更に伴う区分コード追加作業等に迅速な対応をすること。
- (7) 最低月1回は、運用状況確認として必ず現地訪問をすること。
- (8) その他、システム運用サポートに当たって有効と考える提案があれば盛り込むこと。

9-2. ハードウェア・システムサポート保守内容について

- (1) 障害時の連絡対応、問診

- (2) 障害原因の切り分け作業
- (3) 不良部位修理を行うと共に、必要に応じてソフトウェア(本件調達分)の回復を実施すること。
- (4) 機器障害発生時には、技術者が訪問して、必要に応じた部品交換を実施すること。
- (5) クラウドサーバには、稼働状況を常時監視する仕組みを取り入れ、障害発生をいち早く察知して保守対応できる仕組みを用意すると共にメモリ障害・ディスク障害等の予兆監視を実施すること。
- (6) 図書システムのパッチ提供、リビジョンアップの権利提供などのマイナーバージョンアップは、随時行うものとし、技術提供サービス等、契約期間の保守サービスを実施すること。
- (7) 導入したソフトウェアの脆弱性が発覚した場合は、即時対応すること。
- (8) ハードウェア、ソフトウェア等の保守連絡の受付窓口を用意すること。障害発生時には、職員にてハードウェア・システム・ソフトウェア等の各窓口へ連絡を行うことは想定していない。受託業者にて一括対応をし、滞りなく各窓口へ連絡・作業指示を行える体制を取ること。
- (9) 保守拠点は、県内及び近隣地域に置き、必要に応じてオンサイトにて対応できること。ただし、製品によってオンサイト保守対応が難しい場合は、別途提案の上で調整することとする。
- (10) 訪問修理の作業実施に際しては、職員と十分な協議の上で対応すること。
- (11) 業務の新たな運用が必要な場合は、保守の範囲外として都度協議の上で対応するものとする。

9-3. 電源工事

電源については必要に応じ工事を行うこと。

10. 契約期間満了後の取扱いについて

10-1. 継続使用について

システムの契約期間が満了した際、使用期間を延長して継続使用する場合は、同等の月額使用料のまま契約できるものとする。その際、更新費用及び再構築費用等の経費は支払わないこととする。

※端末系の機器更新は除く。

10-2. 解約後のデータ返還作業について

本調達システム(新システム)の契約満了時には、市に帰属する全ての格納データを返還すること。

その費用については参考見積として今回の提案書と共に提出すること。これは契約金額には含まれないが、今回の業者選定における評価対象とする。

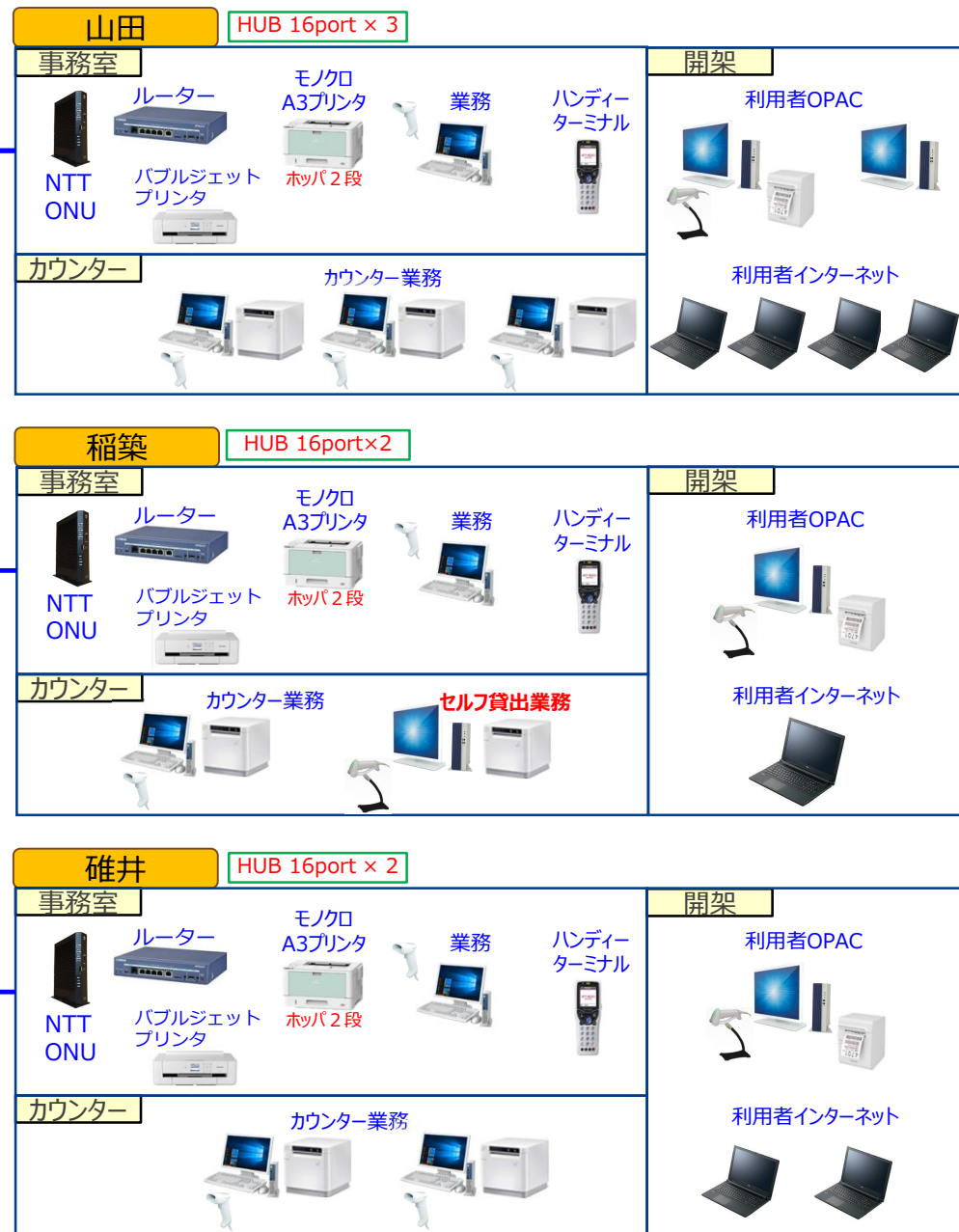
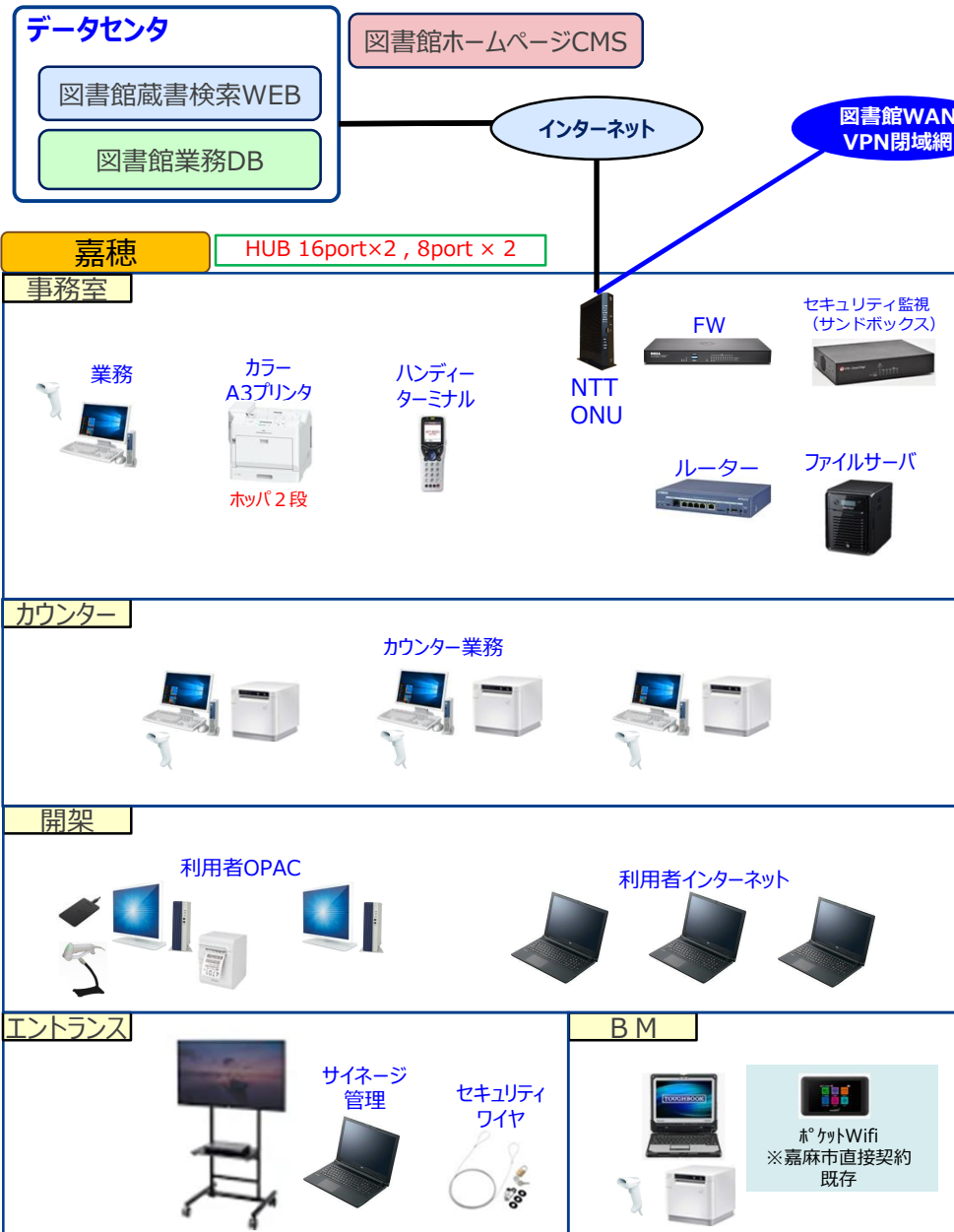
11. その他特記事項

11-1. 留意事項について

- (1) 導入物品の梱包材については、納入業者が納入後速やかに引き取ること。

- (2) 設置や調整作業等については、協議すること。
- (3) 本仕様書については、適切に管理すると共に、これにより知り得た情報については、第三者に開示してはならない。
- (4) 機器の入替の際、これまで利用していた現行機器については、以下のいずれかの方法により情報の復元が困難な状態までデータ消去（消去ソフトウェアも調達）を行ったうえで本市の指定する場所へ返還（運搬・集約）すること。その際、抹消措置の完了証明書等確認できるものを提出すること。またリース業者に返還する際はサポートとして立会うこと。
- なお、今回の新しく導入するリース機器を返還する際も同様の処理を確実にを行い、返還まで立会をすること。
- ①物理的な方法による破壊
 - ②磁気的な方法による破壊
 - ③OS等からのアクセスが不可能な領域も含めた領域のデータ消去装置又はデータ消去ソフトウェアによる上書き消去
 - ④ブロック消去
 - ⑤暗号化消去
- (5) 半導体部品その他電子部品の供給不足、製造中止、物流停滞等、受託者の責によらない事由により、本仕様書に定める機器等の調達に支障が生じる場合は、受託者は速やかに本市へ報告し、納期、代替部品、仕様変更その他必要事項について協議の上、対応を決定するものとする。
- (6) 施設の統廃合等によりパソコン端末等の変更が生じた際、市（教育委員会）と予算及び契約変更等に係る協議を行い、対応すること。

別添-機器構成図 現行システム次期システム (イメージ)



別紙1 調達機器仕様

嘉麻市立図書館システム調達機器仕様

1 構成機器の数量

本システムを構成する各機器の数量及び機能は以下のとおりである。本仕様書に記載した要件を満たすために必要な追加の機器及び数量があれば提案書の中で提示すること。なお、稼働に必要な部材（ソフトウェア、ネットワーク機器、接続に必要なケーブル等）を含めること。

ハードウェア

品名		数量
1	ファイアウォール	1
2	セキュリティ監視（サンドボックス）	1
3	図書館WAN用ルーター	4
4	ファイルサーバ	1
5	業務デスクトップ端末（事務室、カウンター）	13
6	利用者OPAC端末	6
7	利用者インターネット、サイネージ管理端末	11
8	セルフ貸出機（稲築図書館）	1
9	BM業務ノート端末	1
10	レシートプリンタ	11
11	ラベルプリンタ	4
12	業務・利用者OPACバーコードリーダー	19
13	ハンディーターミナル	4
14	カラーA3レーザープリンタ	1
15	モノクロA3レーザープリンタ	3
16	カラーA3バブルジェットプリンタ	3
17	デジタルサイネージディスプレイ	1
18	1000Base-T 16ポートHUB	9
19	1000Base-T 8ポートHUB	2
20	外付けDVDドライブ	4

ソフトウェア

品名		数量
1	図書館システムライセンス（業務端末）	21
2	Office LTSC Standard 2024	12
3	インターネットコンテンツ制限ソフト	10
4	利用者インターネット デバイス制御ソフトウェア	10
5	ウイルス対策ソフトウェア	32

2 基本要件

- (1) パソコンは、国内メーカー製品及び日本国内に保守拠点を有し障害発生時に迅速な対応が可能である外資系メーカー機器とし、ノーブランド機器・・ショップ系機器は不可とする。
- (2) ノートパソコン・デスクトップパソコン・ディスプレイ・タブレットは、同一メーカー製とし、稼働後5年間は継続的に使用できる機器であること。
- (3) 最新モデルでの見積ること。
- (4) ソフトウェアは、調達時に最新バージョンが発売されていた場合は、最新版を選定すること。
- (5) 上記「1 構成機器の数量」の他に、必要なハードウェア、周辺機器があれば、適宜付け加えること。
- (6) 各図書館に設置する機器台数の内訳は下記のとおりである。

※機器設置の際は、現行機器を取り外して本市が指定する場所（嘉麻市各図書館）に集約し、現行リース会社に対して現行機器の引渡しに立ち会うこと。

また、現行機器のディスクはデータ消去を行い、データ復旧できない状態とすること。

設置機器内訳

ハードウェア

名称	嘉穂図書館	山田図書館	稲築図書館	碓井図書館
ファイアウォール	1	-	-	-
セキュリティ監視（サンドボックス）	1	-	-	-
図書館WAN用ルーター	1	1	1	1
ファイルサーバ	1	-	-	-
業務デスクトップ端末（事務室、カウンター）	4	4	2	3
利用者OPAC端末	2	2	1	1
利用者インターネット、サイネージ管理端末	4	4	1	2
セルフ貸出機	-	-	1	-
BM業務ノート端末	1	-	-	-
レシートプリンタ	4	3	2	2
ラベルプリンタ	1	1	1	1
業務用バーコードリーダー	5	4	2	1
利用者OPAC・セルフ貸出バーコードリーダー（スタンドを付けること）	1	1	2	1
ハンディーターミナル	1	1	1	1
カラーA3レーザープリンタ	1	-	-	-
モノクロA3レーザープリンタ	-	1	1	1
カラーA3バブルジェットプリンタ	-	1	1	1
デジタルサイネージディスプレイ	1	-	-	-
1000Base-T 16ポートHUB	2	3	2	2
1000Base-T 8ポートHUB	2	-	-	-

外付け DVD ドライブ	1	1	1	1
--------------	---	---	---	---

ソフトウェア

名称	嘉穂図書館	山田図書館	稲築図書館	碓井図書館
図書館業務システム	7	6	4	4
Microsoft Office 2024	5	4	2	3
Adobe Reader ※利用者 OPAC 端末 、自動貸出機端末、利用者 インターネット端末は除く	5	4	4	4
インターネットコンテンツ制限ソフト	3	4	1	2

(7) 各機器の仕様は下記の通りである。

機器障害時は復旧が完了するまで受託者が責任をもって対応し、完了時は本市（図書館）に報告すること。

また、各性能要件を基本とするが、性能以上となるものについては可とする。

① ファイアウォール

仕様	規格・要件等
インターフェイス	8x1GbE、2x10G SFP+、2 USB 3.0、1 コンソール
シングルサインオン (SSO) ユーザー数	2,500 以上
VLAN インターフェイス	256 以上
ファイアウォールイン スペクションの スループット	5Gbps 以上
IPSec VPN のスループ ット	2.1Gbps 以上
サイト間 VPN トンネル 数	250 以上
IPSec VPN クライアン ト数	10 以上
暗号化/認証	DES、3DES、AES (128、192、256 ビット)/MD5、SHA-1、Suite B 暗 号化
証明書のサポート	Verisign、Thawte、Cybertrust、RSA Keon、Entrust、SonicWall- to-SonicWall VPN 用の Microsoft CA、SCEP
IP アドレスの割り当て	スタティック、(DHCP、PPPoE、L2TP、PPTP クライアント)、IP Unnumbered、内部 DHCP サーバー、DHCP リレー
NAT モード	1 対 1、1 対多、多対 1、多対多、フレキシブル NAT (重複 IP)、 PAT、トランスペアレントモード

ルーティングプロトコル	ルーティングプロトコル BGP、OSPF、RIPv1/v2、スタティックルート、ポリシーベースのルーティング
保守	先出しセンドバック保守 5年間 平日 9:00～18:00

② セキュリティ監視 (サンドボックス)

仕様	規格・要件等
機器種別	ゲートウェイ型 統合脅威管理 (UTM) アプライアンス装置
処理性能	ファイアウォールスループット：4000Mbps 以上、ファイアウォール+ウイルス対策スループット：452Mbps 以上
推奨接続台数	同時接続デバイス数 50 台程度を快適に処理できる能力を有すること
基本セキュリティ機能	ファイアウォール、侵入防御 (IPS)、不正プログラム対策、アプリケーション制御、URL フィルタリング、メールセキュリティ対策機能を有すること
クラウドサンドボックス	クラウド型サンドボックス (動的解析) 機能を有し、不審なメール添付ファイルやダウンロードファイルを仮想環境上で実行・解析して防御できること
管理・運用	クラウド型の集中管理コンソールを提供し、リモートから設定やログ確認、レポート出力が行えること
保守	センドバック 5年間
参考機種	トレンドマイクロ社製 Cloud Edge 50 G3、またはこれと同等以上の機能・性能を有する他社製品であること

③ 図書館WAN用ルーター

仕様	規格・要件等
機器推奨	YAMAHA RTX840
保守	オンサイト保守 5年間 平日 9:00～17:00

④ ファイルサーバ

仕様	規格・要件等
筐体	タワー型
メモリ	8GB 以上
インターフェース (LAN 端子)	LAN 端子 (10GBASE-T、1000BASE-T)
対応ネットワークファイル プロトコル	SMB/CIFS、AFP、FTP、SFTP、NFS、HTTP/HTTPS、SNMP
内蔵インターフェース	Serial ATA III 最大 6.0Gbps (規格値)
規格	VCCI Class A
ディスク容量	RAID5 論理容量 6TB 程度
保守	オンサイト保守 5年間 平日 9:00～17:00

⑤ 業務デスクトップ端末（事務室、カウンター）

仕様	規格・要件等
サイズ	本体サイズは、幅 500 mm、奥行 335 mm、高さ 220 mm以下
CPU	インテル Core i5-14400 プロセッサ以上
メモリ	法人向け 16GB 以上
ストレージ	暗号化機能付 256GB SSD 以上
LAN インターフェイス	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T
USB ポート	USB 3.2 Gen1(本体前面×4)、USB 2.0(本体背面×4) 以上
光学ドライブ装置	DVDスーパーマルチドライブ
ディスプレイ	21.5 型ワイド フルHD 以上 スピーカー付
キーボード	USB109 キーボード
マウス	レーザーマウス
OS	Microsoft Windows 11 Pro (64bit)
ソフトウェア	Microsoft Office LTSC Standard 2024
保守	平日翌営業日出張修理 8:30~17:30 5年間
添付品等	標準添付品 再セットアップ DVD (Win11 Pro)

⑥ 利用者OPAC端末

仕様	規格・要件等
サイズ	本体サイズは、幅 500 mm、奥行 335 mm、高さ 220 mm以下
CPU	インテル Core i5-14400 プロセッサ以上
メモリ	法人向け 16GB 以上
ストレージ	暗号化機能付 256GB SSD 以上
LAN インターフェイス	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T
USB ポート	USB 3.2 Gen1(本体前面×4)、USB 2.0(本体背面×4) 以上
ディスプレイ	19 型スクエア タッチパネル液晶 投影型静電容量方式 タッチ点数10点以上
キーボード	USB109 キーボード
マウス	レーザーマウス
OS	Microsoft Windows 11 Pro (64bit)
保守	平日翌営業日出張修理 8:30~17:30 5年間
添付品等	標準添付品 再セットアップ DVD (Win11 Pro)
その他	各館1台には10. ラベルプリンタ、12. 業務・利用者OPAC Cバーコードリーダーを接続する

⑦ 利用者インターネット、サイネージ管理端末

仕様	規格・要件等
CPU	インテル Core i3-1315U プロセッサ以上
メモリ	法人向け 16GB 以上
ストレージ	法人向け 暗号化機能付 256GB SSD
LAN インターフェイス	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 無線 LAN (IEEE802.11ax) & Bluetooth (R)
USB ポート	Type-A : USB 3.2 Gen1 (左側面×2(1ポートはパワーオフ USB 充電機能付き))
ディスプレイ	15.6 型ワイド TFT カラー液晶 (HD : 1366×768 ドット、LED バックライト、ノングレア) 以上
キーボード	テンキー付き日本語キーボード
マウス	光学式又は、レーザーマウス ※パソコンメーカーと同一であること。
保守	平日翌営業日出張修理 8:30~17:30 5年間
OS	Microsoft Windows 11 Pro (64bit)
添付品等	標準添付品 再セットアップ DVD (Win11 Pro)
その他ソフトウェア	利用者インターネットのみ： 有害 URL フィルタリングソフト いたずら防止操作制限制御ソフト ディスクイメージ復元ソフト

⑧ 利用者OPAC端末

仕様	規格・要件等
サイズ	本体サイズは、幅 500 mm、奥行 335 mm、高さ 220 mm 以下
CPU	インテル Core i5-14400 プロセッサ以上
メモリ	法人向け 16GB 以上
ストレージ	暗号化機能付 256GB SSD 以上
LAN インターフェイス	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T
USB ポート	USB 3.2 Gen1 (本体前面×4)、USB 2.0 (本体背面×4) 以上
ディスプレイ	19 型スクエア タッチパネル液晶 投影型静電容量方式 タッチ点数 10 点以上
キーボード	USB109 キーボード
マウス	レーザーマウス
OS	Microsoft Windows 11 Pro (64bit)
保守	平日翌営業日出張修理 8:30~17:30 5年間
添付品等	標準添付品

	再セットアップ DVD (Win11 Pro)
その他	1 2. 業務・利用者OPAC同様のバーコードリーダーを接続する

⑨ BM業務ノート端末

仕様	規格・要件等
CPU	インテル Core i3-1315U プロセッサ以上
メモリ	16GB 以上
ストレージ	暗号化機能付 256GB SSD
LAN インターフェイス	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 無線 LAN (IEEE802.11ax) & Bluetooth(R)
USB ポート	Type-A : USB 3.2 Gen1×2 以上
ディスプレイ	14 型ワイド TFT カラー液晶 (HD : 1366×768 ドット、LED バックライト) 以上
キーボード	テンキー付き日本語キーボード
マウス	光学式又は、レーザーマウス ※パソコンメーカーと同一であること。
OS	Microsoft Windows 11 Pro (64bit)
ソフトウェア	Microsoft Office LTSC Standard 2024
保守	引取り保守 5 年間
添付品等	標準添付品
駆動時間	JEITA 3.0 約 9 時間 (動画再生時) 約 16.5 時間 (アイドル時)
その他	堅牢ノートパソコンであること 防じん (IP5x)、防雨 (IPx3)、動作温度 -10~50℃ に対応していること

⑩ レシートプリンタ

仕様	規格・要件等
インターフェイス	USB Type-A
レイアウト	平置き (用紙前排出専用)
印字速度	250mm/秒以上
用紙形態	感熱ロール紙
用紙サイズ	80mm
巻径	最大 φ83mm
ヘッド方式	ダイレクトラインサーマル
解像度	200dpi 以上

オートカッター	ギロチン式
カット方式	パーシャルカット（中央一点残し）
外形寸法	140×150×145mm（W×D×H）以下
保守	平日出張修理 8:30～17:30 5年間
電源	AC100V

⑪ ラベルプリンタ

仕様	規格・要件等
用紙	幅 80mm 長さ 46m（連続紙）
保守	平日出張修理 9:00～17:00 5年間
その他	図書館システムより読書手帳（書籍等）の直接印刷ができること

⑫ 業務・利用者OPACバーコードリーダー

仕様	規格・要件等
読取方式	CMOS エリアセンサ(最大 100fps)
読取光源	電球色 LED
読取コード (1次元バーコード)	JAN-13/8、EAN-13/8、EAN Add-on、UPC-A/E、UPC Add-on、Code 39、Code 128、NW-7(Codabar)、Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、Code 93、MSI/Plessey、Code 11、GS1-128、GS1 DataBar、Postal Code
読取コード (2次元コード)	PDF417、MicroPDF417、GS1 Composite、Codablock F、QRコード、マイクロQRコード、DataMatrix (ECC 200)、MaxiCode、Aztec Code、Chinese-sensible Code
最小分解能	1次元バーコード：0.1mm / 2次元コード：0.169mm程度
インターフェイス	USB
ケーブル	2.0 m程度
抗菌仕様	JIS Z 2801 相当
環境負荷	RoHS 指令
LED安全規格	IEC 62471:2006
EMI/RFI	VCCI/EN55032/FCC Class B
保守	センドバック 5年間
その他	利用者用バーコードリーダーには自立型スタンドを添付すること

⑬ ハンディーターミナル

仕様	規格・要件等
メモリ	16MB 以上
表示方式	1.77 型 TFT カラーLCD 65,536 色以上
表示ドット数	横 128×縦 160 ドット以上
表示文字種	半角（英字、数字、カタカナ）全角（JIS 漢字第一水準、第二水準） ※等倍、縦倍角、4 倍角、9 倍角、16 倍角、25 倍角表示
バックライト	高輝度白色 LED
キーの種類	十字キー1 個（4 方向）、トリガキー1 個、ファンクションキー3 個、多機能キー2 個（L・R）、 データ入力キー（テンキー、ENT キー、クリアキー、マイナスキー、小数点キー）14 個、電源キー1 個
光源	可視光半導体レーザー（655nm）出力 1.0mW クラス 2 レーザ製品（JIS C6802）
対応バーコード	JAN/EAN/UPC（アドオンコード対応）、CODE128、 GS1-128、CODE39（フル ASCII 対応）、NW-7、CODE93、 ITF、インダストリアル 2of5、COOP2of5、GS1 DataBar ※液晶画面のバーコードが読み取れること
電源	リチウムイオンバッテリーパックタイプ
保守	センドバック 5 年間

⑭ カラー A3 レーザープリンタ

仕様	規格・要件等
プリント方式	レーザービーム乾式電子写真方式（半導体レーザー）
連続プリント速度	片面カラー A4 ヨコ：35 頁/分、A3：19 頁/分以上 片面モノクロ A4 ヨコ：35 頁/分、A3：19 頁/分以上 両面カラー A4 ヨコ：25 頁/分、A3：12.8 頁/分以上 両面モノクロ A4 ヨコ：25 頁/分、A3：12.8 頁/分以上
解像度	標準：600×600dpi 以上
用紙トレイ	2 段
給紙容量	1 段あたり 300 枚以上
メモリ容量	2GB
搭載フォント	アウトラインフォント（平成明朝体™ W3、平成角ゴシック体™ W5、欧文 21 書体） ストロークフォント（日本語書体、欧文書体：HP-GL 用）、欧文 82 書体、シンボル 37 セット
インタフェース	イーサネット<1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T>、USB3.0
対応プロトコル	TCP/IP
最大消費電力	1,200W 以下

外形寸法	幅 560×奥行 540×高さ 470mm 以下
保守	平日出張修理 8:30～17:30 5年間パック
EMC	VCCI クラスB 情報技術装置

⑮ モノクロ A3 レーザープリンタ

仕様	規格・要件等
プリント方式	LED 乾式電子写真方式
連続プリント速度	片面 A4 ヨコ : 39 頁/分、A3 : 23 頁/分以上 両面 A4 ヨコ : 31.7 頁/分、A3 : 15.4 頁/分以上
解像度	標準 : 600×600dpi 以上
用紙トレイ	2 段
給紙容量	1 段あたり 300 枚以上
メモリ容量	2GB
搭載フォント	日本語 2 書体(平成明朝体™ W3、平成角ゴシック体™ W5)、欧文 21 書体、OCR-B フォント、バーコードフォント
インタフェース	イーサネット<1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T>、USB3.0
対応プロトコル	TCP/IP
最大消費電力	1,200W 以下
外形寸法	幅 500×奥行 400×高さ 270mm 以下
保守	平日出張修理 8:30～17:30 5年間パック
EMC	VCCI クラスB 情報技術装置

⑯ カラー A3 バブルジェットプリンタ

仕様	規格・要件等
プリント方式	インクジェット (MACH) 方式
解像度	最高 : 5,760×1,440dpi 以上
インク/トナー	4 色、独立型インク
印刷スピード	モノクロ 約 15ipm (A4 縦) / 最速 : 約 29 枚/分 カラー 約 11ipm (A4 縦) / 最速 : 約 29 枚/分 両面印刷 モノクロ印刷時 : 約 5.5ipm (A4 縦) / カラー印刷時 : 約 4.7ipm (A4 縦)
ファーストプリント時間 (A4)	日本語 2 書体(平成明朝体™ W3、平成角ゴシック体™ W5)、欧文 21 書体、OCR-B フォント、バーコードフォント
インタフェース	Hi-Speed USB 100BASE-TX/10BASE-T IEEE802.11a/b/g/n/ac
対応プロトコル	TCP/IP
最大消費電力	30W 以下
外形寸法	476×785×411mm 以下

保守	平日出張修理 8:30~17:30 5年間パック
----	--------------------------

⑰ デジタルサイネージディスプレイ（キャスター付き自立スタンド型とする）

※図書館システムと連動して新着本、イベントスケジュール等を自動表示すること

仕様	規格・要件等
液晶表示素子	55型以上
最大解像度	3840 × 2160
最大表示色	約 10.7 億色
画素ピッチ	水平 0.315mm × 垂直 0.315mm
入力端子	HDMI × 3 USB Type-C × 1 : タッチパネル兼用
出力端子	HDMI × 1 φ 3.5mm ミニステレオジャック × 1
USB 端子	USB Type-A (3.0 準拠) × 3、USB Type-C (3.0 準拠) × 1、 USB Type-A (2.0 準拠) × 1
LAN 端子	10 BASE-TX/100 BASE-TX/1000 BASE-T
その他	タッチディスプレイであること
保守	平日出張修理 8:30~17:30 5年間パック

⑱ 1000Base-T 16 ポート HUB

仕様	規格・要件等
インターフェース	10, 100, 1000Base-T Auto MDI/MDX 対応

⑲ 1000Base-T 8 ポート HUB

仕様	規格・要件等
インターフェース	10, 100, 1000Base-T Auto MDI/MDX 対応

⑳ 外付け DVD ドライブ

項目	仕様
最大書き込み速度	DVD-RAM5 倍、DVD-R (1 層) 8 倍、DVD-R (2 層) 6 倍、DVD-RW6 倍、DVD+R (1 層) 8 倍、DVD+R (2 層) 6 倍、DVD+RW8 倍、CD-R24 倍。CD-RW24 倍
最大読み込み速度	DVD-RAM6 倍、DVD-ROM8 倍、DVD-R8 倍、DVD-RW8 倍、DVD+R8 倍、DVD+RW8 倍、CD-ROM24 倍、CD-R24 倍、CD-RW24 倍
インターフェース	USB 3.2 (Gen 1)/3.1 (Gen 1)/3.0/2.0
電源	USB バスパワー
参考機種	参考機種 BUFFALO DVSM-PTV8U3-BKB

別紙2 システム機能回答書

図書館システムの機能要件について、対応欄に記入すること。

対応可能：「○」 対応不可：「×」 オプション及びカスタマイズで対応：「△」

※○・△とした場合、費用は見積りに含み、本稼働時点で実装していること。

会社名
代表者名
印

大分類	小分類	処理機能	項目	要求機能	対応		
サービス全般		サービス提供範囲	1	下記サービスレベルについて遵守すること カウンター業務 貸出・返却／資料検索／利用者登録／予約・リクエスト／相互貸借 資料管理業務 書誌データ管理／ローカルデータ管理／雑誌管理 発注受入管理 利用者管理 帳票 OPAC（利用者公開端末） Web蔵書検索 スマートフォン蔵書検索			
		サービス提供時間	2	図書館業務：年末年始除く毎日 （メンテナンス等による計画停止がある場合、1週間前までに通知を行うこと） 問い合わせ受付：年末年始除く毎日			
		サービスセキュリティ	3	DMZには利用者氏名、住所、電話番号、性別、電子メールアドレスなどの利用者個人情報は一切保持しないこと			
			4	IDとパスワードにより利用認証を行うこと（利用権限の付与）			
			5	3世代以上のデータのバックアップを行うこと。バックアップは国内に退避させること			
		サービス監視	6	10分毎にハードウェアの死活監視を行うこと			
			7	障害監視を10分毎に行い、障害検知時は通知と報告を行うこと			
			8	不正アクセスへの対策を行っていること			
			9	DDoS攻撃への対策を行っていること			
		システム要求レスポンス （通信速度100MB時の前提）	11	貸出・返却時のバーコード読取時のデータ応答：1秒以内（通信速度100MB時）			
			12	インターネット端末より書誌検索キーワード入力時の応答：10秒以内（ヒット件数100件）			
		書誌の最大登録数	13	推定蔵書数150万冊を管理できること（5年後推定）			
		ウイルス検出・駆除	14	サーバにコンピュータウイルスの検出・駆除を行う機能を有するソフトウェアを備え、監視を行うこと			
		図書館業務用ソフトウェア	15	日本国内に設置されたデータセンターであること			
		システム障害時対応 設備（データセンター）	16	日本法に準拠し、サービス利用に関連して生じる係争は合意管轄裁判所を日本国内の裁判所であること			
			17	Tier 3以上の基準を満たしており、建築基準法の新耐震基準に適合していること			
			18	情報資産は日本国内に保管されること			
			19	当該クラウドサービスの運用実績が10年以上あること			
			20	当該クラウドサービスを自らが設計、開発及び提供していること			
		全般		画面	21	利用ユーザ数が100以上であること	
					1	画面のサイズは任意に変更でき、画面サイズに準拠して、画面内の入力項目のサイズも自動的に変更できること	
2	データ登録を行う画面において、必須入力となる項目に任意の背景色、文字色を設定できること						
3	全画面において、入力カーソルがある項目に任意の背景色、文字色を設定できること						
4	使用する画面のフォントは任意に設定できること						
入力	5			全画面にログインIDと処理端末IDが表示できること			
	6			処理選択・コード値選択がマウスおよびファンクションキーで操作できること			
	7			TABキー、Enterキー、上下キーにより各入力項目間のカーソルを移動できること			
	8			ボタンが大きく、ディスプレイをタッチパネル式であれば指でタッチすることによって無理なく操作できること			
	9			バーコードリーダーによる読み込み時、必ず端末からも確認音が出る（端末で読み込めない際はエラー音を出せること）			
	10			貸出画面や返却画面の資料明細で、マウスの右クリックによりローカル情報、タイトル情報の修正画面が起動するなど、カウンターでの資料修正の省力化が図れること			
画面展開	11			データ登録画面において、データ入力中に登録処理を行わないまま、誤って「終了」ボタンをクリックしたとき、確認メッセージが表示できること			
	12			貸出・返却等、各関連業務内の処理画面の個々の展開は、メニュー画面に戻らなくても可能なこと			
	13			ワンタッチで起動する別画面は、任意に設定できること（4つ以上）			
	14			画面展開の際、不要な確認については求めることなく表示すること			
業務メニュー	15			画面の遷移状況を表示し、その遷移過程にある画面には、1クリックで戻ることができること 例）①貸出処理→②利用者検索画面→③利用者登録画面→④利用者貸出一覧画面の順で遷移したとき、①②③どの画面にも戻ることができること			
	16			業務メニューの構成は、館および端末毎に変更できること			
	17	職員IDを設定することにより、職員ID毎に業務メニューを設定できること					

大分類	小分類	処理機能	項目	要求機能	対応		
			18	ログイン情報画面での端末IDの変更可否を制御できること			
			19	基本業務の起動はファンクションキーを押すことで可能なこと			
			20	業務メニューはボタンの配置場所、配置の順番、空きスペースなども各業務毎に設定可能なこと			
			21	メニュー画面に長期予約割当/長期予約待ち/予約受取希望日超過/予約割当可能資料/保管期限切れ雑誌/予約割当保留/自動メール送信/特集自動更新が何件あるのかを表示できること また対象資料を一覧で表示できること			
			22	メニュー画面の長期予約割当/長期予約待ち/予約受取希望日超過/予約割当可能資料/保管期限切れ雑誌/予約割当保留/特集自動更新の対象資料一覧表示から、資料詳細画面を表示できること			
			23	メニュー画面の長期予約割当/長期予約待ち/予約受取希望日超過/予約割当保留の対象資料一覧表示から、利用者詳細画面を表示できること			
		統計処理	24	貸出や返却の統計データについては、リアルタイムにサーバのデータベースを更新し、日時処理等特別な処理を必要としないこと			
			25	各種統計結果は、CSV形式での出力が可能なこと			
			26	集計結果を画面で確認でき、必要に応じて印刷できること			
			27	図書館要覧に記載している統計情報（分類別蔵書冊数（類目別、一般書/児童書別）、利用状況（一般/児童別の登録者数、延べ利用者数、地区別登録者数）、年度の資料貸出点数（一般書/児童書別、月別））を出力できること			
			28	利用（貸出・返却・予約）統計表は、日報（時間帯別）・月報（日別）・年報（月別）に出力できること			
		レシートプリンタ	29	貸出期限票、予約者連絡票、回送指示票等のレシートを任意の専用プリンタにより出力できること			
			30	レシートの出力項目等を端末毎に設定できること			
		ラベルプリンタ	31	読書手帳用のシールを任意の専用プリンタにより出力できること			
			32	シールの出力項目等を端末毎に設定できること			
		帳票	33	帳票システムとして、本図書館の仕様に合わせた背ラベル、バーコード等の印字が可能なこと			
			34	本図書館の仕様に合わせた資料番号バーコードをラベル形式で印刷できること			
			35	本図書館の仕様に合わせた利用者バーコードをラベル形式で印刷できること			
			36	ラベルプリンタと連携し、利用者番号、利用者番号バーコードをシールラベルに印刷できること			
			37	必要な帳票内容は、CSV出力に対応できること			
		利用者カード	38	バーコードを印刷した利用者カードが利用可能なこと			
			39	リライトカードを利用した利用者カードが利用可能なこと			
			40	住基利用者カード及びマイナンバーカードを図書利用券として活用でき、非接触型のICカードリーダにかざすことで、簡単に図書を借りることができること			
			41	非接触型ICカード（SuicaやEdy、おサイフケータイなど）を利用できること			
			42	スマートフォン画面に利用者カードのバーコードの表示が可能なこと(利用者番号も併せて表示すること)			
		操作ログ	42	処理の起動、検索・データ抽出の実行、プリンタ抽出の実行、テキスト出力の実行、データ更新の実行、パラメータの更新、システムコードの更新をログとして保存すること			
			43	保存したログは以下の条件を指定して抽出することができ、画面または帳票に出力することができること 抽出条件：処理日範囲、ログインID、処理区分、処理端末番号、プログラムID、更新利用者番号範囲			
		システム連携	44	ICタグおよびIC機器を使った運用ができること			
			45	TRCのTOOLiと連携できること			
		カウンター業務	カウンター業務全般	画面表示	1	貸出・返却・検索等の画面は、常時Windows画面に表示でき、その切替えがマウス・キーボードにより可能なこと	
					2	画面構成は、誤動作を起こしにくく、疲れを感じにくい作りになっていること	
					3	主要業務（貸出、返却、資料検索、利用者検索）については、各画面の識別が容易にできるように工夫されていること 例) 複数画面を起動したとき、画面の一部の背景色を見れば、その画面がどの機能であるか識別できること	
					4	以下の一覧については、表示項目、位置、列幅を任意に設定できること また、1明細に複数行を表示する設定も行えること ・貸出処理画面における貸出中資料の一覧 ・返却処理画面における返却済資料の一覧 ・返却処理画面における貸出中資料の一覧 ・利用者貸出一覧画面における貸出中資料の一覧 ・利用者予約一覧画面における予約中資料の一覧（1利用者に対する予約タイトルの一覧） ・利用者検索における、検索結果利用者情報の一覧 ・資料検索における検索結果書誌情報の一覧 ・資料検索におけるローカル情報の一覧	
				コメント	5	利用者に対して、複数のコメント通知機能を持ち、忘れ物・落し物・その他の案内等を定型文・自由文で随時入られること	

大分類	小分類	処理機能	項目	要求機能	対応
			6	情報非表示設定時でも、ワンタッチで利用者詳細画面へ展開し、利用者氏名／資料名が確認できること	
			7	資料に対して、複数のコメントを通知する機能を持っていること（付録、汚破損状況等を定型文・自由文で随時入れられること）	
			8	資料情報および利用者情報に付加するコメント（定型文、自由文）の数に制限がないこと	
			9	コメントの注意音は、貸出時のみ・返却時のみのようにコントロールできること	
			10	資料の定型コメントに重要度（大・中・通常）を設定でき、重要度毎に文字色・背景色が設定できること	
			11	利用者の定型コメントに重要度（大・中・通常）を設定でき、重要度毎に文字色・背景色が設定できること	
			12	資料情報および利用者情報に付加されたコメント毎に登録日と登録館が確認できること	
	貸出業務	貸出手順	13	利用者番号と資料番号のバーコード読み込みで完了すること	
		貸出処理	14	個人・団体・相互等、いずれの貸出処理も同一画面で行えること	
			15	同一画面で館内貸出が行えること。館内貸出はワンタッチで行えること	
			16	資料番号を読み込んだ時点で貸出確定し、DBを更新すること	
			17	当日中に貸出処理をした資料の貸出取消ができること また、統計データは貸出がされなかったとみなして差し引かれること	
			18	未返却資料を貸出処理すると、自動的に返却処理すること また、チェック画面を表示させ返却後貸出を行う、返却のみ行う、処理を行わない状況を応じた職員判断により処理を行える設定もできること	
			19	不明資料を貸出処理すると、自動的に不明状態を解除し状態区分を貸出中に変更できること	
			20	資料種別（図書・雑誌・AV資料等）毎、利用者毎の貸出日数、延期日数、延回数、種別毎の貸出点数、合計貸出点数が設定できること	
			21	貸出資料一覧から資料の返却と所蔵状態を不明状態（強制不明）への変更を同時にできること	
			22	予約していた資料を予約していた利用者に貸し出すと、予約データが消去されること また、予約していた利用者以外に貸し出したとき、予約データは維持されること	
			23	貸出処理時に表示される明細は自館又は自館グループに表示を限定することができること	
			24	利用者貸出一覧の画面にて、貸出館を「全館」「自館」「自館グループ」を切り替えて表示できること尚、初期値の値については、設定で変更できること	
			25	利用者貸出一覧の画面にて、貸出一覧の表示は「貸出館・返却期限順」「貸出館・貸出開始日順」の設定が可能なこと	
			26	移動図書館等での使用のため、ログイン切替等を行わず、貸出画面において容易に貸出館・サービスポイントを指定変更して貸出を行えること	
			27	利用者の貸出上限チェック時に、「紛失申請済」「弁償手続き中」等の貸出資料を、貸出冊数としてカウントしないこと	
			28	弁償手続き中の資料に関しては貸出点数に含めないようにして、貸出を許可することが可能なこと	
			29	利用者区分・資料種別・受入区分・受入期間の組み合わせに対して貸出可能か否かのチェックを行えること	
			30	相互貸借利用者に対して新着資料を貸出した際に貸出可能かのチェックが行えること	
			31	長期延滞資料(貸出期限から任意期間すぎた資料を長期延滞資料と判断する)のある利用者がさらに一定期間以上資料を返却しなかった場合、延滞資料返却後も一定期間の貸出を制限できること また、職員判断により貸出もできること	
		図書館カレンダー	32	図書館カレンダーの休館日を設定することで返却予定日を管理し、また貸出画面での随時変更も可能なこと	
			33	図書館カレンダーは館毎に設定できること	
			34	カレンダーに設定する休館日は、貸出日数に含める休館日と含めない休館日が設定できること	
		貸出期間設定	35	各館毎に貸出期限を設定できること	
			36	貸出画面から任意に利用延長を行え、貸出期限票の印刷を行えること	
			37	貸出中資料の貸出期間延長・継続を任意に設定できること（ただし、予約資料・相互貸借資料時は自動的にチェックし、延期の可否を判断でき、また、設定によっては延期不可とすることもできること）	
			38	貸出中資料の延長を禁止する貸出日からの日数、延長を許可する返却期限日からの前後日数を任意に設定し、チェック対象となった場合は延期の可否を判断できること	
			39	貸出期間の変更が可能であり、その際にはキーボードからの入力のみならず一週間延長ボタンや、カレンダー画面表示からの選択の2種類が可能であり、入力の簡素化が実現されること（資料区分毎に変更可能なこと）	
			40	貸出資料に予約が存在する場合に貸出期間を自動的に変更できること	
			41	長期延滞資料(貸出期限から任意期間すぎた資料を長期延滞資料と判断する)のある利用者がさらに一定期間以上資料を返却しなかった場合、延滞資料返却後も一定期間の貸出期間延長・継続を制限できること また、職員判断により貸出期間延長・継続もできること	
		画面展開	42	貸出基本画面より貸出期限変更、利用者仮登録、利用者検索、貸出・予約一覧、利用者詳細情報へ展開できること	
			43	バーコードの読み込みにより、貸出画面／返却画面切替および貸出・返却処理画面の起動が可能なこと	
			44	利用者氏名、電話番号、住所、生年月日、状態区分等から利用者を検索した上で貸出処理へ展開できること	
			45	貸出資料の明細をダブルクリックすることにより、資料データの詳細情報（書誌詳細、ローカル情報一覧）が表示できること	
			46	貸出画面上で貸出中一覧を確認し、画面遷移することなく延滞通知を行うことができること	
		紛失登録管理	47	貸出一覧から継続貸出、強制返却、貸出取消、期限変更、紛失登録等の処理が可能なこと	
			48	紛失登録時から、任意の貸出状態を選択し、紛失日、メモを管理し、紛失資料の管理を行えること	
			49	紛失登録した資料に対する督促対象から除くことができること	

大分類	小分類	処理機能	項目	要求機能	対応
			50	紛失した資料情報、利用者情報の帳票が用意されていること 帳票の出力項目には、発行日、発行館、タイトル名、人名、出版社、出版年、分類、価格、ISBN、資料番号、所蔵館を印刷し、利用者に渡すことができるように、切り取り線も併せて印刷できること	
			51	紛失登録画面から、除籍予定入力が可能であり、除籍予定入力日、除籍事由区分の入力が可能なこと	
			52	貸出詳細画面から、紛失資料の弁償受領書を印刷できること	
		表示情報のクリア	53	個人情報保護の観点から、画面上に「表示クリア」ボタンを配置し、随時押すことにより表示情報クリアができること	
			54	個人情報保護の観点から、貸出し処理が終わった時点でその利用者への情報は全て画面からクリアされること（処理をしない一定の時間（設定可能）が過ぎると表示情報が自動的にクリアされること）	
		仮登録利用者への貸出	55	利用者の仮登録機能を有すること（その際、統計に必要な項目である性別・生年月日・地区コード・利用者区分は入力すること）	
			56	利用者登録画面で仮登録から本登録に更新した時に、仮登録の時に作成した統計データの利用者情報を本登録の利用者情報で更新することができること	
		家族連携登録	57	家族連携処理された利用者の場合、複数の利用者カードを連続して読み込み、人数に準じて貸出資料を連続して読み込むことができること（リライトカード使用時は除く）	
			58	家族連携登録した利用者の家族の未返却資料一覧がワンタッチで表示できること	
			59	家族連携処理された利用者間の情報は相互に参照できること	
			60	家族連携処理をする利用者は登録時に確認作業を必要とすること	
		画面構成・表示	61	画面下部にキーボードのファンクションキー配列と同じボタンを配置し、任意の処理画面を展開できること（利用者番号読み込み時の割当ても設定できること）	
			62	利用者番号を読み込んだ時点で、利用者区分、資料種別毎の返却期限および既貸出資料数、延滞資料数、延滞資料（他予約あり）数、督促資料数、予約数、確保済み予約数を表示すること	
			63	既貸出資料（全資料・延滞資料・長期延滞資料・督促資料）の表示／非表示および色設定（文字色、背景色）の設定が可能なこと	
			64	読み込んだ資料の表示パターンを変更でき、また表示する項目（資料番号、資料名、貸出期限等）についても、項目や表示幅等が変更できること	
			65	貸出資料一覧表示時、資料種別が表示され、何を何点借りているか確認できること 未返却資料の延滞・長期延滞・督促情報は色別（文字色・背景色）による表示が可能なこと	
			66	個人情報保護の観点から、利用者氏名の表示／非表示を端末毎に予め設定でき、非表示設定時でも、利用者詳細情報画面に展開することで利用者氏名を確認できること	
			67	個人情報保護の観点から、貸出した資料名の表示／非表示を予め設定でき、たとえ非表示設定時でも、貸出情報参照により資料名を確認できること	
			68	個人情報保護の観点から、利用者番号読み込み時には氏名を表示し、資料番号を入力すると表示していた氏名を隠すこともできること	
			69	貸出画面から利用者の予約一覧画面を開き、予約状況の確認、予約取消が行えることまた、グループ予約、セット予約内容の確認、修正も行えること	
			70	利用者の予約一覧画面では、割当済みの予約と未割当の予約の色を任意に設定できること また、未割当の予約については、「自館貸出可」「返却待ち」「発注中」等の状態も色識別表示できること	
			71	貸出処理画面で、利用者の予約割当済資料が画面遷移することなく一覧で確認できること	
			72	貸出処理画面で、利用者の貸出中資料・予約中資料の一覧をワンタッチで表示できること	
			73	画面上に当日の貸出状況（点数・利用人数）をリアルタイムに準じて表示できること（表示する情報は、①その端末での状況、②全館での状況とすること）	
			74	利用者の貸出状況一覧表示における延滞等の資料状態を色別表示できること	
			75	貸出処理時は、操作員が利用者番号読み込みと資料番号読み込みを見間違わないよう、入力するフィールドの場所が変更になること また、資料番号フィールドで利用者番号を読み込んだ場合、利用者番号であることを判断して自動的に利用者番号フィールドに遷移し表示させることができること	
			76	利用者の貸出詳細画面では、紛失登録・督促連絡記録を一括入力できること	
		レシート印刷	77	貸出処理後、利用者番号・利用者番号バーコード・利用者氏名・貸出資料・返却予定日・発行日・予約待人数・自由文等（端末毎に任意に設定可能）をレシートプリンタにより印刷できること また、「今回貸出のみ」「当日貸出」「利用者全貸出」「レシート未印字のみ」の印刷範囲指定が可能であること	
			78	貸出明細印刷時に、延滞貸出資料、予約延滞貸出資料、督促貸出資料、予約有り資料、延長済み資料に対して、先頭に特定文字を印刷することができること また、延滞貸出資料と督促貸出資料等、重複した貸出資料の場合、どちらの特定文字を印字するか優先順位を設定できること	
			79	代表返却期限日をレシート上段に印刷できること代表期限日は、貸出明細の中で返却期限が最も早いもの、最も遅いものを設定により変更できること	
			80	貸出明細を資料名、資料番号の両方を印字できること	
			81	貸出印刷指示時に明細行が0件の場合「あなたが借りている資料はありません」等の固定文字列が印刷できること	
			82	貸出印刷指示時に広告として企業情報、商品情報などを印刷できること 複数社に対応し、複数社の登録および登録された企業を順番に印刷できること	
			83	イメージデータを印刷できること	
			84	貸出レシートは再出力が可能であること 抽出条件として、全貸出中資料・当日貸出資料のみ・貸出日指定が選択できること	
			85	貸出レシートを再出力する際、貸出明細の出力順を、貸出開始日順か返却期限日順か選択できること	
			86	レシートに出力する内容は、通常のプリンタへの出力も可能であること	
			87	貸出処理後、利用者番号・利用者氏名・タイトル名・人名・出版社・貸出館・資料種別・分類・返却期限・督促回数・合計貸出点数・発行日・頁数をページプリンタにより印刷できること	
			88	利用者区分毎に返却期限の出力形式をレシート形式、またはページプリンタ形式に設定できること	
		シール印刷	89	貸出処理後、資料名・著者名・出版社・利用日をラベルプリンタによりシールに印刷できること	
			90	シールに出力する内容は、直前の操作による貸出分または選択操作した資料のみ・当日貸出分・貸出中全て、から選択できること	
			91	シールは再出力が可能であること	
		操作員通知	92	バーコード入力以外のフィールドにフォーカスがある場合に、バーコード読み込み時に分かりやすい警告音を鳴らせること	
			93	通知はアラーム音・音声でも行え、端末毎に設定できること	
			94	貸出画面では、各種確認については確認する業務の性質上、必ずサブウィンドウで表示し、確認漏れのないようにすること	

大分類	小分類	処理機能	項目	要求機能	対応
			95	延滞資料有り・貸出点数オーバー・督促利用者・予約利用者・除籍利用者・コメント有り等を自動的に音やメッセージで操作員に通知できること その際、ウインドウによる通知も任意に行えること	
			96	コメント付き資料・除籍資料・不明資料・予約資料・持出禁止資料等を自動的にチェックし、音やメッセージで職員に通知できること その際、ウインドウによる通知も任意に行えること	
			97	バーコードを印刷した利用者カード、リライトカード、住基利用者カード、マイナンバーカード、Felica式カード（例：交通系ICカード）、おサイフケータイで貸出が可能なこと	
			98	マイナンバーカードは、インターネット接続が必要なマイキーアプリ方式およびインターネット接続が不要な利用者証明用電子証明書の発行番号を利用した方式の利用ができること	
			99	利用者カードのイメージを印刷できること また既に登録済み利用者でも未登録の番号で印刷できること	
			100	利用者カード紛失への対応のため、登録済み利用者の利用者名、利用者番号、利用者番号バーコードをラベルプリンタで印刷できること	
			101	ネットワーク等の障害発生時にはオフラインによる貸出処理ができること	
			102	利用者に対するコメントチェックの際に、表示するコメントによってはチェックしないことが可能なこと	
			103	その他	
			返却業務		
返却処理	2 資料番号を読み込んだ時点でDBを更新し、完了処理等が不要なこと				
	3 不明・紛失資料の返却処理を行うと、自動的に無効を解除すること				
	4 ブックポスト等の多量の返却本を連続で返却するため通知画面を一時的に表示しないようにする機能があること (返却済み資料の表示を残しておくこと) その際、レシート印刷はリアルタイムに行い、チェックされた内容の一覧リストをページプリンタで印字できること 内容の一覧リストの印字は、設定により連続返却終了時に自動印刷が可能であること				
	5 連続で返却するため通知画面を一時的に表示しないようにする機能があること（返却済み資料の表示を残しておくこと） その際、レシート印刷はリアルタイムに行い、チェックされた内容の一覧リストをページプリンタで印字できること				
	6 返却画面貸出一覧から継続貸出、貸出取消、貸出延期、強制返却（不明処理）、一覧印刷の各処理ができること (返却期限票が任意に出せること)				
	7 家族連携登録をした利用者について、ワンタッチで家族の未返却資料一覧が表示できること				
	8 返却資料一覧表示時、資料種別（図書、雑誌、視聴覚資料等）貸出中資料が表示されること				
	9 返却手続きの際に、返却資料の保管場所情報を、処理端末の場所コードに変更するか否かを資料種別毎に設定できること				
	10 返却資料の除籍状態区分が除籍予定である場合、返却資料の除籍状態を自動的に通常に戻すか否かを設定が可能なこと				
	11 返却手続きにおける関連利用者へのチェックにおいて、返却利用者と返却利用者の家族連携利用者を対象にするか否かを設定できること 但し家族については、あらかじめ設定した家族連携利用者に限定することが可能なこと				
	12 返却時に予約資料を識別することができること				
	13 借受資料返却画面から、借受返却リストを印刷できること また印刷終了後、対象データを削除するかどうか確認メッセージを表示できること				
	14 資料詳細確認・修正処理に移行ができること（複数情報に対しても同じ処理が可能なこと）				
15 返却画面から貸出画面への展開は、利用者番号を読み込むだけででき、また、バーコードリーダーによる画面切替えもできること					
16 貸出画面上で貸出中一覧を確認し、延滞通知を行うことができること					
表示情報のクリア	17 個人情報保護の観点から、処理をしない一定の時間（設定可能）が過ぎると表示情報のクリアができること （「表示クリア」ボタンを配置すること）				
18 「表示クリア」ボタンを押した場合、設定により実行確認画面を表示し、「はい」「いいえ」の選択が可能なこと					
画面構成・表示	19 個人情報保護のため、返却第一画面では利用者名は表示しないこと（利用者番号表示、また当該利用者の未返却資料数および延滞数（うち予約有り数）の表示を端末毎に設定できること）				
	20 読み込んだ資料の表示パターンを変更でき、またその情報（資料番号・資料名・返却期限等）についても、表示する項目や表示幅等を変更できること				
	21 返却資料の保管場所毎に適用する背景色、文字色の設定が可能なこと				
	22 返却資料の受入形態区分毎に適用する背景色、文字色の設定が可能なこと				
	23 返却資料の更新後資料状態区分毎に適用する背景色、文字色の設定が可能なこと				
	24 返却資料の選択、読み込みにより返却者の詳細が確認でき、更に貸出・予約一覧を参照できること				
	25 画面下部にキーボードのファンクションキー配列と同じボタンを配置し、任意の処理画面へ画面展開できること (資料詳細、貸出情報等の参照機能も割当てられること)				
	26 返却画面で、画面を切り替えることなく、資料を返却した利用者の未返却資料一覧を表示できること				
	27 未返却資料一覧から継続貸出、貸出取消、貸出延期、強制返却（不明処理）、一覧印刷の各処理ができること (返却期限票が任意に出せること)				
	28 返却画面から返却処理を実施した利用者の貸出一覧を表示できること 未返却資料の延滞・長期延滞・督促情報は色別（文字色・背景色）による表示が可能なこと				
29 画面上に当日の返却点数をリアルタイムに準じて表示できること（表示する情報は、①その端末での状況、②全館での状況とする）					
30 貸出処理画面で、利用者の予約割当済資料が画面遷移することなく一覧で確認できること					
31 貸出資料一覧表示時、資料種別が表示され、何を何点借りているか確認できること 未返却資料の延滞・長期延滞・督促情報は色別（文字色・背景色）による表示が可能なこと					
操作員通知	32 通知はアラーム音・音声でも行え、端末毎に設定できること				
	33 確実に返却されない場合は、エラー音がでること				
	34 返却した利用者に関する予約割当て、コメント情報のチェックがかけられること				
返却者確認	35 コメント付き資料・除籍資料・不明資料・借受資料・予約資料・未貸出資料等を自動的にチェックし、音やメッセージで職員に通知できること				
	36 資料を借りていた過去数名分の利用者の貸出状況を一覧表示で確認できること				
	37 返却者一覧から、当日返却した利用者名を選択し、レシート印刷ボタンを押すことで返却証明書をレシートに印刷できること				
	38 返却証明書には、利用者番号、貸出資料名、返却時刻および指定したメッセージを印刷できること				
	39 返却した資料は返却した時点で、貸出履歴を削除できること（以下の例外を除く）				
40 返却された資料番号から、①当日中に限り②前々回利用者までに限り③運用に制限をつけ、返却者が確認できること					
41 返却された資料番号から、①前回利用者に限り②前々回利用者までに限り③指定した人数に限り④運用に制限をつけ、返却者が確認できること					

大分類	小分類	処理機能	項目	要求機能	対応					
			42	返却者確認画面では、返却資料タイトル・返却日時・返却館・返却操作端末ID・返却利用者番号・返却利用者名・返却利用者電話番号が表示できること						
			43	返却者確認画面の表示内容を返却資料タイトル・返却利用者番号番号に制限することができること						
			44	ネットワーク等の障害発生時にはオフラインによる返却処理ができること						
			45	返却資料の明細をダブルクリックまたは右クリックすることにより、資料データの詳細情報（書誌詳細、ローカル情報一覧）が表示ができること						
			46	利用者を特定することにより、当日の返却済み資料を確認できること						
			47	予約されていた資料が返却され、受渡館が返却処理をした館の場合、その資料は予約割当中とする						
			予約対応			48	返却された資料が他館受渡資料の場合、回送処理を実施し、本の状態を自動的に①予約回送中②通常回送中③回送中にしないを選択可能にすること			
						49	予約割当中の資料を再度返却しても、割当対象の利用者は変わらないこと			
						50	予約されていた資料の返却時に、予約資料情報および予約割当て対象利用者の情報を予約割当通知票として自動的に印刷できること			
						51	予約割当通知票の最上部に割当対象利用者の氏名または氏名カナの先頭2文字を出力できること			
						52	予約割当票には、利用者コメントを印字できること また事前設定により、不要な特定コメントの印字を抑制できること			
						53	返却された資料がチェック対象の保管場所に設定されていたとき配架指示票が印刷できること			
						54	返却された資料が借受資料のとき、借受資料返却指示票を印刷できること			
						55	他館所蔵の資料が返却された場合、所蔵館が異なることを通知し、所蔵館への回送指示票を印刷できること			
						56	予約受渡館として他館を設定している資料が返却された場合、予約回送を通知し、予約回送指示票を印刷できること			
						57	予約割当票、予約回送指示票に印字可能な氏名について、印字部分の一部を「*」等でマスクし秘匿化することが可能であること			
			58	予約割当てレシートの再出力が可能であること						
			59	次のレシートに任意に登録した画像を印字できること 返却期限票/利用者番号通知票/資料レシート/書誌レシート/予約状況レシート/タイトル一覧レシート						
			60	レシートに印字する画像は複数登録でき、順番に印刷できること						
			61	レシートの画像は印字期間を登録し、開始/終了の管理ができること						
			資料検索業務		検索速度	1	300件ヒットで5秒以内			
					検索方法	2	資料名・著者名・出版者・ISBN・分類・MARC番号・受賞情報・内容細目等のMARCデータを有効に活用した検索、および図書館独自にて付与したキーワードによる検索、およびタイトルコード・NDC分類・請求記号・別置記号・請求分類・資料番号・発注番号・新刊案内号（TRC週刊新刊全案案内）を検索項目にできること			
						3	資料区分の複数選択による横断検索ができること			
						4	所蔵の有無、発注中資料の混在検索ができること			
						5	所蔵資料の検索対象に、除籍済み資料も含むことができること			
						6	発注中資料の検索対象に、選書登録中資料も含むことができること			
						7	論理演算子（AND、OR、NOT）を使用し、複数項目間の複合検索が行えること（5項目以上の複合検索に対応すること）			
						8	項目により前方/後方一致、完全一致、中間一致で検索が行えること			
						9	各種検索キーをカナ・漢字・アルファベットの全半角・大文字小文字両方で同じ検索が行えること（同音異語でも検索でき、清音規則は任意に設定できること）			
						10	検索中断キーを有するほか、中断件数を設定できること（少ない文字数での検索の際、完全一致検索にするかどうか設定できること）			
						11	資料名・著者名・件名・内容細目など、項目を選択しない形の「全文検索」が行えること			
						12	「全文検索」では、複数の検索語をスペースで区切ることにより、「すべてを含む」または「いずれかを含む」といった掛け合わせができること			
						13	「全文検索」で検索する際、「含めるキーワード」だけでなく「含めないキーワード」を指定することができること 例：「京都」を含み「東京都」を含めない			
						14	全文検索と通常検索（前方一致等）は同一画面で行え、全文検索の条件と通常検索の条件との掛け合わせもできること			
						15	請求記号等の所蔵（ローカル情報）項目を一次キーとして検索できること（書誌項目との複合検索が行えること）			
						16	検索対象の絞り込み条件が設定できること（基本的なこと（資料種別・保管場所・所在館・状態区分等）は第一画面で設定、検索でき、リストアップができること）			
						17	種別、所蔵館、保管場所、所在館、状態区分、受入区分、予算区分、除籍状態、貸出開始日の検索およびリストアップができること			
						18	資料詳細情報確認画面から、書名、著者、出版者のリンク表示を行い、各項目をクリックすることで、選択項目を検索条件とした検索処理を実行することができること			
						19	本に印刷されているISBN/バーコードを読み取って検索できること			
						20	項目指定の検索で入力された検索語があらかじめ設定した文字数より少ないときは、自動的に完全一致に切り替わって検索できること			
						印刷			21	検索した一覧をページプリンタ又はレシートプリンタに印字可能なこと
					22				検索した一覧を紙に出力する以外に、CSVおよびPDF形式に出力可能なこと	
					23				レシートプリンタに印刷する際には、指定した明細から件数を指定した一覧印刷が可能なこと	
					絞込条件		24	ローカル項目（資料種別、所蔵館、保管場所、所在館、状態区分、受入形態区分、貸出区分、受入先、予算区分、購入区分、媒体区分、利用対象、流通区分、刊行形態）の組み合わせを絞り込み条件として選択可能であり、任意に絞込みのボタンとして上記区分の組み合わせを保持できること		
					典拠検索			25	内部で管理している典拠番号により、同名異人特定検索、ペンネーム等の別名の自動検索ができること（その関連を一覧画面で確認できること）	
								26	画面から典拠対象の追加・修正・削除が行えること	
								27	外部人名典拠ファイルからの一括登録も可能なこと	
					再検索			28	検索条件を自動的に保存（保存件数は任意に設定できること）し、後から再検索できること	
								29	目録画面にて、目録の次の項目から再検索ができること ・書名（書名/版書名/シリーズ名等）、著者、出版者 ・標目（タイトル、著者、件名）	
								30	再検索の際に、巻号情報を含めずに検索可能なこと	
					画面展開			31	検索を実行した結果、該当件数が一定の件数以下の場合、一覧画面に自動的に遷移できることまた、その件数は任意に設定できること	
								32	検索結果一覧画面から複本（ローカル）一覧画面、発注画面・目録画面・予約画面・資料詳細画面へ展開できること	

大分類	小分類	処理機能	項目	要求機能	対応
			33	複本一覧画面にて貸出中の資料表示時、ワンタッチで利用者詳細画面へ展開し、利用者氏名、電話番号等が確認できること	
			34	複本一覧画面にて貸出中の資料表示時、ワンタッチで貸出一覧、予約一覧画面へ展開し、貸出中資料、予約中タイトルの確認できること	
			35	複本一覧は開架場所に保管されている資料を優先して上位に表示できること	
			36	書誌一覧画面、もしくは、複本一覧画面から、書誌登録、所蔵登録、予約・発注処理の各画面に展開できること	
			37	検索結果一覧画面で明細行をダブルクリックすることにより、予め設定された画面（複本一覧・目録表示・予約一覧・発注一覧・資料詳細）に展開できること	
			38	検索結果一覧画面から、MARCタグ単位の書誌情報一覧画面に遷移できること	
			39	複本一覧画面にて貸出中の資料表示時、ワンタッチで督促連絡依頼表の出力画面へ展開し、督促連絡依頼表を貸出館のプリンタに直接出力できること	
			40	複本一覧画面にて、以下の項目の日付を時分秒まで表示できること 最終利用日/資料確認日/最終更新日/初回不明確認日/最終不明確認日/不明発見日/除籍予定処理日/除籍処理日/貸出日/督促日/督促連絡日/前回貸出日/前回返却日/前回継続貸出日	
		画面構成・表示	41	検索結果を随時保存（件数は任意に設定）し、選択することにより最新の検索結果を表示すること（同一館内であれば他の端末でも保存した結果を利用できること）	
			42	特定書誌の資料の所蔵資料・未所蔵資料・発注中資料等の状態が検索結果から把握できること	
			43	書誌の詳細情報を目録カード形式で表示できること（目録表示は目録カードと同じく、全てのデータをカード形式で表示すること）	
			44	検索結果の書誌一覧内に代表サブタイトルを表示できること また、選択中の書誌に対応する全サブタイトルを一覧外に表示できること	
			45	検索結果から所蔵状態（不明資料・除籍・貸出中等）の把握・修正が行えること	
			46	検索結果一覧画面より検索結果一覧の印刷が行えること	
			47	検索結果一覧画面は登録順（最新が上）を常態とし、書名順・著者名順・分類順（任意に設定可能なこと）に並べ替えることができること	
			48	検索結果一覧で現在貸出可能、貸出中、他館貸出可能、所蔵なし資料等を背景色または文字色で色分けして表示できること	
			49	検索結果として表示する項目は任意に設定できること	
			50	予め画像や音声を登録した資料であれば、資料詳細画面からその画像や音声を参照することができること	
		TOOLi連携	51	図書館システムとTOOLiサーバと連携する機能があること 図書館所蔵情報と同時に未所蔵資料の検索をTOOLiサーバと連携して実施し、結果の一覧を同一画面に表示できること	
			52	書名、著者名、件名などをAND、OR検索できること	
			53	フリーワード検索と条件指定検索（書名・著者名・件名など）とを掛け合わせた検索ができること	
			54	検索結果のタイトル一覧は、所蔵データと未所蔵データ（TOOLiのデータ）の色を変えて表示できること	
			55	検索結果の詳細情報の表示が行えること	
			56	詳細情報からデータのダウンロードを行い図書館データベースに取り込むことが可能なこと	
	利用者登録業務	住所入力	1	住所ファイルを有し、住所コードにより住所登録できること（住所コードの入力または選択により、住所・郵便番号が自動的に入力されること）	
			2	郵便番号入力確定時、住所ファイルから該当する住所コードを参照し、自動表示できること	
			3	住所コードの入力簡易ツールとして住所コード名（カナ）もしくは郵便番号を入力すると該当資料コード一覧が表示し、簡易にコード入力が可能なこと	
			4	広域地域の住所コード・地区コードが入っていて、利用者登録時に利用できること	
			5	日本郵便提供の郵便番号データを利用して郵便番号入力時に住所表記の自動表示をすることができること	
			6	郵便番号データはあらかじめ設定したスケジュールで自動的にダウンロードすること	
		電話番号	7	複数の電話番号および連絡先を登録できること（この時、「保護者」「通勤先」などと別枠で入力でき、表示されること）	
			8	利用者の登録、既存利用者の登録情報の修正、登録利用者の除籍、利用者カード紛失時等の再発行処理を行えること	
			9	家族の2人目を登録すると、以降は電話番号入力後ワンタッチで利用者データを複写し、氏名・生年月日・性別等を直すだけで次々に登録することができること（前入力データのコピー機能を有すること）	
			10	利用者の検索機能を有すること	
			11	登録（修正）処理した利用者の履歴を参照することができ、次利用者の登録・修正処理にそのデータを活用できること	
			12	利用者を修正する場合、同じ電話番号や住所を持つ利用者、または家族連携した利用者の情報も一括で修正できること	
			13	生年月日を西暦でも和暦でも登録できること また西暦で登録した場合、次回利用者情報を読み込み時は、登録したときと同じ形式（和暦、西暦）で表示されること	
			14	生年月日ではなく年齢を登録する運用もできること	
			15	利用者名入力時に、自動カナ振り機能を有すること（漢字のローマ字入力に基づいて振れること）	
		仮登録	16	貸出画面からワンタッチで利用者仮登録画面に展開し、簡易に利用者仮登録を行うことができること	
			17	利用者仮登録画面の初期入力値を、利用者番号に設定可能なこと仮登録時に利用者番号以外の入力を省略することが可能なこと	
		再発行	18	図書館利用データ（貸出状況等）を引き継いでの利用者カードの再発行・番号置換ができること	
		有効期限	19	利用者の有効期限の管理を行うことができること尚、貸出、返却画面にて、有効期限切れ前の事前チェックが可能なこと	
		二重登録チェック	20	利用者氏名カナ、電話番号、生年月日で二重登録利用者のチェックを自動的に行えること	
		パスワード登録	21	利用者のメールアドレスやパスワード情報の登録ができ、Web情報の提供・利用者端末等での貸出・予約のシステムと連動できること	
			22	E-Mailは最大6個まで登録できることまた、予約確保時の連絡先、督促の連絡先として、どのE-Mailでも指定できること	
			23	パスワード入力画面にてパスワードを表示するか、非表示とするか選択可能なこと	
			24	パスワードの非表示の際に職員のみ確認ができるように、パスワード入力により表示する機能を用意していること	
			25	ランダムなパスワードを発行できる仮パスワード機能を有すること 但し桁数等の基本情報を設定することができること	
			26	仮パスワードには、数字・英文字・記号が使用できること	
			27	仮パスワードには有効期限を設けることができること	
			28	利用者登録画面上でパスワードの参照・編集ができないように制限できること	
		コメント管理	29	利用者情報に定型コメントおよびフリーコメントを入力できること	
			30	利用者情報に付加するコメントの表示順を設定できること	

大分類	小分類	処理機能	項目	要求機能	対応	
		管理情報	31	利用者情報に付加するコメント毎に登録日と登録館を登録できること		
			32	利用者コメントの種類により、利用者バーコードスキャン時に①毎回表示するコメント②表示後消去するコメント③チェックしないコメントの選択が可能なこと		
			33	管理項目として、データ登録館、データ登録サービスポイント、カード発行日、貸出形態区分、状態区分、除籍日、再発行回数、最終利用日の管理を行えること		
			34	利用者毎の過去5年分の利用実績（貸出数、利用回数）を参照できること		
			35	利用者情報の更新履歴を確認できること		
		その他	36	利用者詳細情報画面を表示する際に、利用者の個人情報为非表示状態で画面表示でき、また非表示/表示がワンタッチで切替できること		
			37	年齢は生年月日から自動計算し表示すること（年次処理等は不要であること）		
			38	生年月日ではなく年齢の登録で運用する場合でも、年次処理などによる年齢加算の処理は不要であること		
			39	利用者カードの有効期限は自由に設定できること		
			1	予約資料の現在の状態（利用可能、予約中等）の管理が行えること（貸出予定日を表示できること）		
		予約リクエスト業務	予約処理	2	利用者からのリクエストに対応するため、未所蔵資料への予約登録ができること	
				3	未所蔵資料への予約登録時に、利用者区分・資料区分ごとで予約可否のチェックが行えること	
				4	利用者単位の予約上限数を設定し、新規予約登録時に上限追加する場合は確認画面を表示し、続行・中断が選択できること	
				5	利用者単位の予約上限数は、資料区分（図書、雑誌、AV）の任意の組み合わせにより設定できること	
	6			特定した予約（割当て済みを含む）を解除できること		
	7			割当て済みの予約の割当て状態を解除したとき、予約データを残すのか取り消すのか選択できること		
	8			割当て済みの予約の割当て状態を解除し、予約データを残すとき、予約順位を最下位にするか割当て待ちの最上位にするか設定できること		
	9			予約処理画面から利用者を検索し、利用者の設定ができること		
	10			受付館・受渡館を設定することができ、貸出・返却業務とも完全連携が行えること		
	11			本人が借りている資料のタイトルには予約できないようにも、できるような設定が利用者区分毎にできること		
	12			本人が予約しているタイトルには予約できないようにも、できるような設定が利用者区分毎にできること		
	13			館同士の資料の予約連絡をシステムと連携したメッセージ機能により行えること また、受け取った内容に関して確認や拒否等を行えることができ、関係する資料、利用者の詳細情報を表示、修正することができること		
	14			資料一覧画面で複数の資料を選択し、連続・一括予約を行えること		
	15			グループ予約（複数資料に任意の予約数を割当てることが可能で、課題図書等への予約管理が可能なこと		
	16			グループ予約で複数の課題図書等の特定資料に予約をしても、任意の冊数貸し出すと他の特定の資料の予約も自動的に削除されること		
	17			予約の優先順位を設定するセット予約が可能で、上下巻等の巻号管理を行えること		
	18			通常予約済みの複数予約情報を後からグループ予約、セット予約ができること		
	19			グループ予約をあとからセット予約または通常予約に変更できること		
	20			セット予約をあとからグループ予約または通常予約に変更できること		
	21			シリーズ本など、あらかじめセットとして扱うタイトルのグループを登録することにより、同じグループのタイトルが予約された際に自動的にセット予約にすることができること		
	22			任意の予約を選択し、予約取消が行えること		
	23			予約取消を行う場合、「取り置き期限超過」等の予約取消理由を登録できること		
	24			取消した予約を確認することができること		
	25			取消した予約を復元することができること		
	26			貸出可能資料が自館になく他館にはある場合に、他館に対して予約回送依頼のメッセージをシステムから送信し、管理することができること		
	27			予約回送依頼は各館毎に設定した優先順位に準じて回送依頼送信されること		
	28			予約回送依頼は依頼を実施した館で取消できること		
	29			予約回送依頼は依頼を受けた館で拒否できること。拒否した場合は、次に優先順位の高い館に対して自動で回送依頼送信ができること		
	30			予約取消が行われた場合、回送依頼は自動で取消されること		
	31			予約の連絡について連絡済、未連絡を管理でき、連絡済から一定期間（任意設定可）貸出されない予約資料を抽出・割当て解除することで次の予約者が利用可能なこと		
	32			利用者番号と資料番号の入力による現物予約機能があり、この場合でも複本管理予約ができること（予約欄にある資料を使い直接予約をかけられること）		
	33			複本がある場合、全ての複本に予約がかかり、どれか一冊が返却された時点で予約通知が行えること		
	34			相互貸借資料の予約にはチェック機能が働くこと（予約対象のタイトルが全て借受資料のときに注意メッセージが表示されること）		
	35			資料番号を入力し、特定資料に対して予約が可能なこと		
	36			特定資料に対して予約された資料は他の利用者に対して予約割当てされないこと		
	37			特定資料に対して予約をした場合は、複本が返却されても予約割当てされないこと		
	38			長期延滞利用者への予約割当て制限ができること		
	39			長期延滞資料(貸出期限から任意期間すぎた資料を長期延滞資料と判断する)のある利用者がさらに一定期間以上資料を返却しなかった場合、延滞資料返却後も一定期間の予約割当てを制限できること また、職員判断により予約割当てもできること		
	40			予約メモの入力ができること		
	41			予約メモは定型文や手入力、またはその両方の組み合わせができること		
	42			利用者情報等で定型文の予約メモを登録することができ、設定登録されている利用者の予約時には、自動的に予約メモの登録がおこなえること		
	43	予約メモ情報は、返却時に出力されるレシートに印字可能であること				
	44	資料予約入力画面及び利用者予約一覧画面に、「代表サブタイトル」を表示できること				
	予約管理情報	45	予約処理の受付館、受渡館の選択が可能なこと			
		46	予約受付および受け渡し場所は、設定により館またはサービスポイントの指定が選択できること			
47		窓口での予約受付場所は、各端末に設定された館またはサービスポイントを初期表示すること				
48		予約の新規登録時、予約受付場所は、設定により初期値を変更できないようにすることができること				
49		予約受付場所の初期値を変更できない設定の時でも、登録後に修正が可能なこと				
50		予約した際の予約日時を管理することができること				
51		予約順位は受付方法(窓口・館内OPAC・WebOPAC)にかかわらず、登録した順番とする				
52		予約順位の変更ができること ただし、予約受付時間は変更されないこと				
53		予約受付時間を変更しても、予約順位は変更されないこと				
54		予約された資料の割当て方法（返却待ち、借受待ち、発注待ち等）の情報を管理できること				
55		受取希望日の入力、管理が可能なこと				

大分類	小分類	処理機能	項目	要求機能	対応		
			56	受取希望日を過ぎた予約がある場合、貸出画面や返却画面でメッセージが表示され、利用者に確認ができること また、受取希望日を過ぎた予約リストを出力し、予約の一括取消ができること			
			57	予約申込方法（来館予約、電話予約、OPAC予約、Web予約）の管理ができ、申込方法毎の統計資料が出力可能なこと			
			58	資料の予約回送が無駄なく行うため3件の予約に対して各館で重複して資料を確保しないよう、予め設定した受渡館毎の優先順位を加味して自館に所在している予約割当対象資料のリストが出力されること			
			59	資料の予約回送が無駄なく行うため複数資料の予約に対して各館で重複して資料を確保しないよう、予め設定した受渡館毎の優先順位を加味して自館に所在している予約割当対象資料のリストが出力されること			
		予約連絡管理	60	予約リストを以下の条件によりリストの出力が可能なこと ・出力対象：全件、割当済のみ、未割当のみ、未所蔵資料のみ ・範囲指定：予約受付日、予約受取希望日、資料区分、予約受付館、予約受渡館、利用者区分、予約申込区分、予約状態 また予約受付館、予約受渡館の選択方法を館コードとするか、サービスポイントコードとするかを選択できること ・予約リストにはISBN番号および利用者番号のバーコードを印字できること			
			61	予約連絡管理として、以下の抽出条件により、データの抽出をし、予約連絡済の入力を管理および連絡方法により、メール一括送信、ハガキ作成が可能であること ・抽出条件：利用者番号、予約割当日、予約受付日、受付館、受渡館、電話番号、連絡方法（電話、E-Mail等）			
			62	予約在庫リストの出力時、予約受付館、予約受渡館の選択方法を館コードとするか、サービスポイントコードとするかを選択できること			
			63	予約在庫リストの出力時の表示条件として、閉架書庫の資料を優先して上位に表示することができること			
		予約制限	64	予約したタイトルに対して、割当対象館を特定館のみと指定することができること			
			65	予約したタイトルに対して、割当対象館を複数指定できること			
			66	予約したタイトルに対して、割当対象館を市町村等グループで指定できること			
			67	特定タイトルに対して、期間を指定した予約受付制限を実施すること			
			68	予約割当制限にて、特定資料に対して予約割当を不可とする設定が可能なこと			
		予約上限	69	予約割当を禁止したい（予約させたくない）資料を特定の別置/分類や保管場所で指定することが可能なこと			
			70	長期延滞資料(貸出期限から任意期間すぎた資料を長期延滞資料と判断する)のある利用者が予約しようとした場合、メッセージを表示して予約できないようにできること また、職員判断により予約受付もできること			
			71	長期延滞資料(貸出期限から任意期間すぎた資料を長期延滞資料と判断する)のある利用者がさらに一定期間以上資料を返却しなかった場合、延滞資料返却後も一定期間の予約を制限できること また、職員判断により予約受付もできること			
		予約変更・取り消し	72	予約の上限設定に、申し込み方法（窓口/電話/OPAC/Web）およびタイトルの媒体区分毎に予約の上限設定が可能なこと			
			73	1日に予約可能な件数を制限できること（申し込み方法毎）			
			74	予約したタイトルに対して、割当対象館を市町村等グループで指定できること			
		画面展開・表示	75	予約変更・取り消しの履歴を保存し、帳票に出力可能なこと			
			76	返却や受入等により利用可能となった利用者を抽出し、予約連絡一覧を表示できること			
			77	検索結果から予約処理に展開することができること			
			78	予約者の予約・貸出状況（予約数・貸出数・督促数・延滞数）を予約受付画面に表示できること			
		相互貸借業務	受入処理	79	予約者の一覧を、氏名をつけてワンタッチで出せること		
				80	基本的には予約した順で優先を決めるが、予約順位の変更が簡単な処理で可能なこと		
				1	他館からの相互貸借の予定を入力でき、相互貸借の依頼表を出力可能なこと		
				2	借受資料を自館資料登録と同様の操作で登録、修正が行えること（借受資料登録用の専用画面は持たないこと）		
				3	他館からの相互貸借の予定を検索し、該当する資料を特定し、受入処理して一般利用者に対する貸出ができること		
				4	どこの館からどの資料を借りているか画面で表示できること（借受館へ返却済み等の状態も表示できること）		
				5	借受資料の登録は、事前に借受の予定を入力していなくても、資料到着後に登録して受入処理ができること		
			借受先への返却期限	6	借受予定入力の際には、タイトル、著者名、出版社、出版年月、ISBN、分類番号、資料番号、請求記号、借用館、借用予定日等が入力できること		
				7	借受予定の資料に予約がかけられること		
			返却処理	8	借受資料単位に借受先への返却期限を管理できること（一般利用者に対して貸出をする際に、他館資料の貸出期限と自館資料の貸出期限をチェックし、他館資料の貸出期限が短い場合、貸出期限が短い場合、貸出時に注意メッセージを表示できること）		
				9	他館資料を返却した際に、借りた履歴を残すためにタイトル情報を保存するかどうかを選択できること（次回再利用できること）		
			履歴	10	他館資料を返却した際に、誤って次の予約を登録している場合に、予約割当を抑制すること等により、相互貸借資料の再貸出を制限できること		
				11	他館資料の借受状況を、タイトルや借受日等から検索でき、どこの図書館から借りたかの管理が可能なこと		
		統計処理	12	借受状況を表示する際、文字色・背景色の設定ができ、借受期限切れ資料の確認が容易にできること			
			13	年報（相互貸借館毎・分類毎の貸出点数、借受点数）や実績一覧（借受タイトル・貸出タイトル）が印刷できること			
		資料管理業務	書誌データ管理業務	書誌データ管理	1	典拠データを利用してMARCデータを登録できること	
					2	MARCの各種書誌情報（記事・内容等）を登録・修正することができ、検索対象とすることができること	
					3	日本図書館協会が販売しているMRDF9(日本十進分類法新訂9版機械可読ファイル)を分類検索用データとして取り込むことができること	
					4	NDCは「8版と10版」というように複数のNDCを登録・管理でき、メインで使用するNDCを設定することができること	
					5	書誌情報に定型コメントおよびフリーコメントを入力できること	
					6	書誌情報に付加するコメントの表示順を設定できること	
					7	書誌情報に付加するコメント毎に登録日と登録館を登録できること	
					8	複本資料も、既登録資料のMARCデータを利用して登録できること	
				TRC-MARC	9	「日本目録規則2018年版」(NCR2018)による、TRC_TタイプのMARC改定版に対応すること 増設されたタグ情報の登録やタグ情報を用いた検索が行えること	
					10	TRCMARC(Uタイプ)に対応すること（人名典拠・内容細目・学習件名等の各種サブファイルの登録・活用ができること）	
					11	TRCMARC(Tタイプ)に費用を追加することなく対応できること	

大分類	小分類	処理機能	項目	要求機能	対応			
			12	TOOLi等のMARCデータを直接取り込んで書誌を登録できること、また、TOOLiのダウンロード機能を利用して、個々の書誌情報の登録が可能なこと				
			13	定期的にTOOLiサーバ上のMARCデリバリファイルを確認し、新規(未処理)のMARCデータファイルが配信されている場合には自動的にダウンロードおよびMARC変換・展開処理を実行できること				
			14	TOOLiサーバ上のMARCデリバリファイルの自動的にダウンロードおよびMARC変換・展開処理は電子書籍MARC(抽出MARC、更新MARC)も実行できること				
			15	JIS78で入力された文字とJIS90で入力された文字を同一視できること 例)「蟬しぐれ」と「蟬しぐれ」				
			トータルMARC	16	トータルMARC V1.5に対応すること			
				17	文字コードはShift-JISとUTF-8に対応すること			
				18	本タイトルにルビのある書名についてのルビ読みを除いた書名(2.5.1 Cタグ)が取り込めること			
				19	抄録・著者紹介の拡張タグが取り込めること			
				20	内容細目ファイルの取り込みができること			
			AV-MARC	21	著者典拠ファイルの取り込みができること			
				22	各種AV-MARCに対応していること			
				23	各種情報を可変長にして登録し、検索することができること			
			JAPAN/MARC	24	複数所蔵資料のデータ管理が行えること			
				25	国立国会図書館が提供する『JAPAN/MARC MARC21フォーマット』形式のMARCファイル取込みができること			
				26	図書登録画面からNDL-OPAC (http://iss.ndl.go.jp/api/) の情報を検索する画面に展開し、検索した結果をコピーして書誌の登録ができること			
			資料管理帳票	27	NDL-OPAC (http://iss.ndl.go.jp/api/) の情報はNDC10版データを登録ができること			
				28	所蔵資料の資料区分・統計分類毎に点数・金額を集計し、内訳表を出力できること			
				29	集計結果を画面で確認でき、必要に応じて印刷できること			
			ローカルデータ管理業務	ローカルデータ管理	30	統計データをExcelと連携し、2次加工できること		
					1	ローカル情報で「所蔵館」「所在館」等の詳細情報を管理して分館連携に対応できること		
					2	ローカル情報に定型コメントおよびフリーコメントを入力できること		
					3	ローカル情報に付加するコメントの表示順を設定できること		
					4	ローカル情報に付加するコメント毎に登録日と登録館を登録できること		
					5	資料バーコード読み込みによるローカル情報の連続変更および条件の範囲指定による一括変更ができること(所蔵館・場所変更・禁帯区分等の付与/変更、コメントの付与等)		
					6	資料番号が登録されたテキストファイルの読み込みによるローカル情報の連続変更ができること(所蔵館・場所変更・禁帯区分等の付与/変更、コメントの付与等)		
					7	借受資料登録時は借受先が入力できること		
					8	資料の寄贈者情報の入力ができ、寄贈者単位での冊数確認および一覧表の印刷が可能なこと		
					9	複本のデータ管理が行えること		
					10	資料の除籍・復籍処理が連続で行えること		
					11	蔵書点検用携帯端末で読み込んだバーコード情報により、任意の複数の各区分の一括変更ができること		
					12	資料の新規登録時、資料種別がバーコード上の特定の桁位置の値から判別できる場合は自動的に表示すること		
					13	資料の新規登録時、資料種別が書誌情報のNDC分類または別置から判別できる場合は自動的に表示すること		
					14	資料の新規登録時、請求記号を書誌情報の下記の項目をもとに初期値を表示できること NDC分類、刊行形態区分、著者名カナ、書名カナ、巻冊記号、別置記号		
					15	資料に付与された定型コメントを抽出し、一括削除できること		
					蔵書点検	16	蔵書点検は所蔵館方式ではなく、所在館方式で管理していても実施できること	
						17	蔵書点検は全館一斉だけでなく、一部の館のみ点検処理を行い、他の館は通常通り開館できること	
						18	蔵書点検準備処理として、点検開始日・所蔵館・保管場所・資料種別・別置・分類を指定して、対象の資料を点検対象とする	
						19	蔵書点検準備処理で指定する組み合わせは、同時に複数設定できること	
						20	蔵書点検準備処理を複数設定する際は、条件の重複がないかチェックできること	
						21	蔵書点検準備処理で指定する組み合わせは、同時に複数設定できること 設定された条件は、変更・削除が可能なこと	
						22	蔵書点検期間中でも発注や受入ができること	
23	蔵書点検の際、除籍・未登録・配架場所相違等のチェックリストを出力できること							
24	蔵書点検の際、不明資料・未返却資料については、自動的に通常状態にし、返却処理を行えること							
25	蔵書点検は蔵書点検用携帯端末、業務用クライアントで作業ができること							
26	不明更新を行う前に不明候補資料の一覧を印刷できること							
27	任意指定回数以上の不明資料を一括で除籍に変更できること							
28	蔵書点検中に通常返却処理を実施することが可能であり、返却された資料は点検済みとなること							
特集資料管理	29	特集毎に資料番号の読み取り、または、POT等使用して出力した資料番号データを取り込むことにより、資料が登録できること また、登録済みの特集に資料番号の読み取りにより追加・削除ができること						
	30	特集へ登録した資料の所蔵館、保管場所を一括で変更できること また、特集終了後は変更前の所蔵館、保管場所を一括で戻ること						
	31	特集を一時停止できること 一時停止した場合、登録資料の所蔵館、保管場所が変更前の内容に一括で戻ること						
	32	一時停止した特集を復帰処理させることで、特集を再開できること 例)クリスマス特集を来年度も再利用できる						
	33	特集資料管理画面では特集の状態、特集内容、登録資料数、開始日、終了予定日、所蔵館、保管場所を一覧表示できること						
	34	特集へ登録している資料一覧を印刷できること						
	35	特集資料管理画面から、特集へ登録している資料の目録情報が参照できること						
	36	特集の開始・停止・再開・終了は自動で行われず、任意のタイミングで手動で行えること また、自動で停止/終了する運用も可能であること						
	37	複数の特集を同時に管理できること						
	38	1点の資料を複数の停止中の特集に登録できること						
	39	特集に資料を登録したとき、他の特集に登録済みの資料であるかチェックされること						
	40	現在有効になっている特集に登録済みの資料を他の特集に登録した場合、登録済みの特集名を表示でき、新規の特集に登録変更するか変更しないか選択できること						
	41	特集毎に開始日/終了予定日に合わせて自動的に所蔵館、保管場所の変更を開始/停止する設定ができること 手動での動作に戻すこともできること						

大分類	小分類	処理機能	項目	要求機能	対応		
			42	特集毎に年齢別の貸出冊数統計が出力できること			
			その他	43	借受け先別順の資料リストが出せること		
				44	弁償待ち資料の一覧が作成、印刷できること		
				45	資料情報更新結果印刷についてソート条件として請求記号を選択できること その際、資料種別+請求記号順にてソートできること		
				46	除籍資料リスト一覧画面、除籍予定リスト及び除籍リストに以下の情報が出力できること 全館の複本冊数/全館の利用可能冊数/最終利用日/通算貸出累計数/本年度貸出累計数		
				1	雑誌管理	雑誌管理	1
			2	雑誌タイトル毎に保存区分の設定ができること			
			3	保存区分には「永久保存」の設定もできること			
			4	雑誌のローカルデータで、開架から閉架に移動する期日を管理できること			
			5	おすすめ等の外部公開蔵書データの作成に特集資料管理機能を利用できること			
	6	貸出期限日・所蔵館・資料種別・除籍対象外貸出状態区分で特定した未返却資料を一括で除籍できること					
	7	タイトル情報登録画面にて人名情報・著述区分を変更した際に、責任表示欄に変更した内容が反映されること					
	8	未利用資料の一覧が印刷できること また「最終貸出日」「最終確認日」を出力できること					
	9	未返却資料一括除籍処理の検索結果一覧で、前回除籍実行した時の条件を保存し、初期値としてその条件を表示できること					
	10	資料番号またはISBN番号またはMARC番号が記載されたテキストファイルを読み込み、対象の雑誌情報の一覧を画面表示や帳票出力できること					
	雑誌管理業務	雑誌管理		1	雑誌タイトル毎に保存期間、開架期間、貸出禁止期間の設定ができること		
				2	雑誌タイトル毎に保存区分の設定ができること		
				3	保存区分には「永久保存」の設定もできること		
				4	雑誌のローカルデータで、開架から閉架に移動する期日を管理できること		
				5	おすすめ等の外部公開蔵書データの作成に特集資料管理機能を利用できること		
				6	貸出期限日・所蔵館・資料種別・除籍対象外貸出状態区分で特定した未返却資料を一括で除籍できること		
				7	タイトル情報登録画面にて人名情報・著述区分を変更した際に、責任表示欄に変更した内容が反映されること		
				8	未利用資料の一覧が印刷できること また「最終貸出日」「最終確認日」を出力できること		
				9	未返却資料一括除籍処理の検索結果一覧で、前回除籍実行した時の条件を保存し、初期値としてその条件を表示できること		
				10	資料番号またはISBN番号またはMARC番号が記載されたテキストファイルを読み込み、対象の雑誌情報の一覧を画面表示や帳票出力できること		
	その他	外部公開 その他		1	ISBN番号から選書登録ができること		
				2	MARCを利用して選書登録ができること		
				3	TOOLi連携時には、TOOLiを利用したMARC番号入力により選書登録ができること		
				4	見計らい本等を使用して、選書候補となる資料を「選書登録」または「一括選書登録」ができること		
				5	発注前の選書状態を管理するための状態区分があること		
6				選書リストに出力されたバーコードを読み込み、発注の状態を変更できること			
7				選書リストに出力されたバーコードを読み込み、選書取消ができること			
8				選書登録した資料を一括で発注処理ができること			
9				選書の一括発注時に選書保留状態の資料が発注対象にならないこと			
10				選書登録画面で各館の選書状況が確認できること			
選書業務	選書管理		11	選書の一括登録時、館毎の注文数を指定して登録できること			
			12	登録した選書情報を選書リストに出力できること			
			13	選書リストに対象資料の集計金額を出力できること			
			14	選書リストに発注番号のバーコードを出力できること			
			15	選書リストに出力したバーコードを利用し、資料の選書状態/保留状態を変更できること			
			1	発注状況、受入状況が画面で確認できること			
			2	発注中の図書資料についてもMARCで検索できること（発注中のステータスを画面上に表示できること）			
			3	発注図書にそのリクエスト者を（複数）入力できること			
			4	新刊MARCを利用した発注が可能なこと			
			5	インターネットを利用したMARCデータの受発注システム（TRCのTOOLi等）に対応すること			
6	同一タイトルに対する「二重発注」「既に所蔵済」の場合、チェックし誤発注の抑止ができること また、発注点数および複本点数を表示すること（他に何点発注しているかあるいは他に何点所蔵している分かること）						
7	新刊案内等に印刷されたバーコードを読み込むことにより、発注データの作成が可能なこと（一点毎の確定を必要としないこと）						
8	発注情報に定型コメントおよびフリーコメントを入力できること						
9	発注情報に付加するコメントの表示順を設定できること						
10	発注情報に付加するコメント毎に登録日と登録館を登録できること						
11	発注の取消が行えること						
12	発注取消データから再発注ができること						
13	発注する資料のMARC番号、ISBN番号を連続して入力することにより、一括発注ができること						
14	TRCの発注データを作成できること（作成・抽出したデータは一覧形式で印刷できること）						
15	新刊MARC一括登録時、「新刊急行ベル」などの資料は自動で発注データを作成できること（TRCの発注データは作成しない）						
16	発注の取消ができ、取消した発注情報は履歴として残すことができること						
17	TOOLi一括発注画面を使用したTOOLiサーバへの直接発注時に、以下の発注種別を指定できること 通常発注/クイック発注/見計らい発注						
18	TOOLi連携時、発注一覧画面での「注文済」状態の発注情報に対し、以下の情報を出力できること TOOLi進捗状況/TOOLi受信方法/TOOLi受信形態/TOOLi受付日/TOOLi入荷日/TOOLi出荷日						
19	MARC番号発注での発注入力時に、TOOLiサーバを参照して発注するタイトルの在庫状況を表示できること						
20	MARC番号発注での発注入力時に、予め設定したルールに従って請求記号を自動表示および登録できること						
21	MARC番号発注での発注入力時に、発注ローカル情報に発注コメントが付与できること						
発注・受入管理業務	発注・受入管理	発注・受入確認	22	受入処理が終了した資料については、受入図書リストに出力できること（受入区分・受入日・資料種別順などでリストアップできること）			
			23	発注管理ファイルと受入管理ファイルのデータを定期的にマッチングさせて、未納入図書リストを書店毎に出力できること			
			24	発注情報を参照しながら受入処理が行えること			
			25	資料のISBN/バーコードを読み取って書誌を特定して受入できること			
			26	各種MARCデータにより一括受入後、専用画面で検収処理が行えること（検収画面では、必要に応じてローカルデータの修正が行えること）			
			27	受入時に資料状態の初期値を任意に設定できること			
			28	受入後一定期間、新着資料として識別することができること			
					受入処理	22	受入処理が終了した資料については、受入図書リストに出力できること（受入区分・受入日・資料種別順などでリストアップできること）
		受入処理	23	発注管理ファイルと受入管理ファイルのデータを定期的にマッチングさせて、未納入図書リストを書店毎に出力できること			
		受入処理	24	発注情報を参照しながら受入処理が行えること			
		受入処理	25	資料のISBN/バーコードを読み取って書誌を特定して受入できること			
		受入処理	26	各種MARCデータにより一括受入後、専用画面で検収処理が行えること（検収画面では、必要に応じてローカルデータの修正が行えること）			
		受入処理	27	受入時に資料状態の初期値を任意に設定できること			
		受入処理	28	受入後一定期間、新着資料として識別することができること			

大分類	小分類	処理機能	項目	要求機能	対応
			29	受入リストを以下の条件によりリストの出力が可能なこと ・抽出条件：所蔵館、資料種別、受入形態区分、受入先、予算区分、購入区分、資料状態区分、受入日、別置区分、資料番号、分類 ・ソート条件：館、種別、受入形態区分、受入先、予算区分、購入区分、資料状態、タイトル順、資料番号順	
			30	受入リスト印刷での帳票プレビュー・出力、およびテキスト出力にて、ISBN番号を出力できること	
			31	雑誌受入リスト印刷で発行周期を出力できること	
		新着資料印刷	32	新着資料案内を印刷できること	
		予算管理	33	資料の受入先（書店等）が複数の場合でも予算管理ができること	
			34	発注時処理から予算の差し引き処理が自動連携できること	
			35	受入処理から予算の差し引き処理が自動連携できること	
			36	年度毎・月毎に予算額・発注額・受入額・予算残額・受入残額が管理できること	
利用者管理業務	利用者管理	利用者検索	1	利用者氏名（カナ・漢字・アルファベットで全半角混在で可能）・電話番号・生年月日・利用者区分・E-Mail・利用者状態区分・利用者番号・連絡先名・連絡先電話番号・郵便番号での検索処理が行えること	
			2	複数の項目に入力することによりAND検索ができること	
			3	入力した検索条件に該当する利用者と、その利用者に対して事前に関連付けした家族利用者を同時に検索し、検索結果にまとめて表示できること	
			4	入力した検索条件に該当する利用者と、電話番号、もしくは、住所が一致する利用者を家族利用者として同時に検索し、検索結果にまとめて表示できること	
			5	検索中断件数を設定できること（検索中断キーにより任意に中断できること）	
			6	検索結果画面は条件入力画面と同一画面で表示されること	
			7	利用者一覧にて表示できること	
			8	項目の種類・幅・順番を任意に設定できること	
			9	利用者の詳細情報を表示できること（氏名・電話番号・生年月日・年齢・住所・最終利用日・督促累積回数・有効期限・貸出資料一覧・予約資料一覧・コメント等が確認できること）	
			10	検索された利用者を選定することにより、貸出中資料、予約中資料の確認、処理展開ができること	
			11	検索された利用者を選定し、その家族を検索できること（家族連携対象者および電話番号一致利用者）	
			12	検索された利用者を選択し、選択した利用者の利用者番号を引継ぎ貸出処理へ展開ができること	
			13	デフォルトカーソルの位置は、任意設定が可能なこと	
			14	入力した電話番号ですべての連絡先の電話番号を検索できること	
			15	ローカル端末による利用者検索では、公共、学校（自グループ）のみ検索対象とすること	
		利用者抽出	16	団体利用者・相互貸借利用者毎のリストが出せること	
			17	地区別に利用者集計を出力できること	
			18	抽出結果を画面で確認でき、必要に応じて印刷できること	
			19	統計データをExcelと連携し、2次加工できること	
		利用者処理	20	利用者一覧画面から選択した利用者の番号置換え・再発行・有効期限更新・利用状態区分一括変更・一覧印刷が可能なこと	
		無効処理	21	最終利用日から一定期間（任意に設定可）を過ぎた利用者を無効（除籍）にできること	
		督促・予約処理	22	貸出期限・貸出館・資料種別・利用区分・予約状況によって督促対象者の抽出、設定ができること	
			23	一定期間以上未返却の資料、または返却予定日の範囲指定および督促回数により、督促はがきを印刷できること（印刷する利用者を任意に選択できること）	
			24	督促対象資料中の予約資料のみを抽出し、督促対象設定・はがきの印刷が可能なこと	
			25	督促はがきの印刷は郵便番号順にソートが可能なこと	
			26	督促はがきの印刷実行時に、督促連絡回数を加算できること	
			27	返却予定日の範囲指定、督促回数、予約状況、借受け資料、貸出館により、督促リストの印刷ができること（氏名や電話番号・住所・資料種別に打ち出せること）	
			28	督促状態で保護者を設定している場合は保護者の印字もできること	
			29	督促状に資料名・資料番号のいずれを印字するか選べること	
			30	督促はがきにコメントを印刷できること	
			31	はがきに「料金後納郵便」を印字できること	
			32	督促状はA4サイズのドライシール（単票）の用紙にも対応できること	
			33	督促状は封書（B5サイズ）にも対応できること	
			34	督促状は秘匿感熱用紙（はがき）にも対応できること	
			35	予約連絡メール、督促連絡メールをシステムから送信できること また、あらかじめ送信時間、送信曜日、送信対象期間等を設定して自動で送信もできること	
			36	複本一覧画面から、貸出中資料の貸出利用者に対して督促連絡を依頼する督促連絡票を、貸出館のプリンタに直接出力できること	
		紛失・弁償管理	37	貸出中資料を利用者が紛失した場合に、紛失中または弁償中という状態を管理できること	
			38	紛失資料の一覧が印字できること	
		予約連絡管理	39	予約リストを以下の条件によりリストの出力が可能なこと ・出力対象：全件、割当済のみ、未割当のみ、未所蔵資料のみ ・範囲指定：予約受付日、予約受取希望日、資料区分、予約受付館、予約受渡館、利用者区分、予約申込区分、予約状態 また予約受付館、予約受渡館の選択方法を館コードとするか、サービスポイントコードとするかを選択できること ・予約リストにはISBN番号および利用者番号のバーコードを印字できること	
			40	予約連絡管理として、以下の抽出条件により、データの抽出をし、予約連絡済の入力を管理およびメール、（はがきによる一括送信が可能なこと） ・抽出条件：利用者番号、予約割当日、予約受付日、受付館、受渡館、電話番号、連絡方法（電話、E-Mail等）	
		督促連絡管理	41	督促リストを以下の条件によりリストの出力が可能なこと ・抽出条件：返却期限、督促回数、貸出館、資料種別、利用者区分、貸出状態、予約受渡館、連絡方法 ・利用者に対して督促対象外コメントを入力した場合、リストから対象外とすること ・上記督促リストは督促処理などのバッチ処理を不要とすること	
			42	督促連絡管理として、以下の抽出条件により、データの抽出をし、督促連絡済の入力を管理およびメールによる一括送信が可能なこと ・抽出条件：利用者番号、返却期限日、督促連絡日、督促日、督促回数、督促回数、貸出館、貸出状態、連絡方法（電話、E-Mail等）、連絡回数、連絡状態	
			43	前回の督促連絡管理の抽出条件を、時間の抽出条件の初期値として表示することができること	
			44	督促連絡済の記録について、資料毎の連絡回数と各連絡時の情報（連絡日、連絡方法、備考等コメント）、連絡状態の管理が可能なこと	
		E-Mail機能	45	次の画面から対象の利用者に対しE-Mailの入力画面を開き、連絡用のメールを送信する機能を有すること 利用者貸出一覧画面、利用者予約一覧画面、利用者詳細画面	
			46	利用者の貸出一覧上で、連絡メールを送信したい貸出資料情報を選択し連絡できること	

大分類	小分類	処理機能	項目	要求機能	対応	
			46	利用者の貸出一覧上で、連絡メールを送信したい貸出資料情報を選択し連絡する時、家族連携利用者には本人と家族の貸出情報を連絡できること		
			47	利用者の貸出一覧上で、連絡メールを送信したい利用者とその家族の貸出資料情報を選択し連絡する時、家族利用者の貸出資料が含まれていることを確認するメッセージが表示されること		
			48	利用者の予約一覧上で、連絡メールを送信したい予約資料情報を選択し連絡できること		
			49	利用者の予約一覧上で、連絡メールを送信したい予約資料情報を選択し連絡する時、家族連携利用者には本人と家族の予約情報を連絡できること		
			50	利用者の予約一覧上で、連絡メールを送信したい利用者とその家族の予約資料情報を選択し連絡する時、家族利用者の予約資料が含まれていることを確認するメッセージが表示されること		
			51	返却期限日が近づいている利用者に対して、返却期限日をお知らせするメールを送信できること		
			52	返却期限日を知らせるメールは、手動で対象者を抽出して送ることも、あらかじめ条件や処理サイクルを設定して自動で送ることもできること		
			53	返却期限日が過ぎている利用者に対して、延滞を連絡するメールを送信できること		
			54	返却期限日超過を知らせるメールは、手動で対象者を抽出して送ることも、あらかじめ条件や処理サイクルを設定して自動で送ることもできること		
		その他	55	利用者カードの有効期限を更新するとき、次のいずれの日付を基準として起算するか設定できること ・カードの更新を行った日から起算する ・カードの有効期限日から起算する ・カードの利用者の生年月日から起算する		
			56	利用者カードを再発行時に有効期限を更新するか否かを選択できること		
館内OPAC	全般 検索		1	タッチパネルディスプレイを利用したシステムであること		
			2	ひらがな、カタカナ、数字、特殊文字の文字入力が可能なこと		
			3	フリーワードによる検索時、条件を空白で区切って複数入力することでAND/ORによる複合検索ができること		
			4	フリーワードによる検索時、NOTによる複合検索ができること		
			5	フリーワードによる検索時、資料番号の検索ができること		
			6	資料区分（図書・雑誌・AV（音響資料・映像資料））または全資料より選択して検索できること		
			7	資料種別（図書・雑誌・AV（CD・ビデオ・DVD等））または全資料より選択して検索できること		
			8	検索対象とする館を自館のみか全館または複数の館を選択した上で検索できること		
			9	雑誌は雑誌タイトル毎に「スポーツ」等のジャンルが設定でき、ジャンル選択によるタイトル一覧が表示できること		
			10	雑誌のジャンルが設定でき、1つの雑誌タイトルに複数のジャンルを設定できること		
			11	タイトル・著者名（典拠データ参照）・キーワード等より選択して検索できること（一般書が児童書かで絞った後でも可能なこと）		
			12	50音表記から検索キーの入力ができること（この時表示されるキーボードは右並び、左並びが選択可能なこと）		
			13	検索中断ボタンにより検索処理の中断ができること		
			14	検索結果の一覧表示時に、検索キーワードをハイライト表示できること		
			15	検索結果が並べ替え（ソート）可能なこと		
			16	フリーキーワードによる中間一致検索が可能なこと		
			17	検索結果が複数ページにわたる場合、指定したページ（先頭ページ、最終ページ、ページ番号指定）に直接移動できること		
			18	特定保管場所の資料を検索対象外とすることができること		
			19	予め設定した任意の期間を超えて延滞している資料を検索の対象外にできること		
			20	発注中の資料を館内OPACで公開でき、検索/予約の対象にできること		
			21	検索結果に発注中の資料があるとき、タイトル一覧画面で資料状態が発注中であることがひとめでわかること		
			22	館内OPACでキーボードを使用することなく、漢字検索を行うことができること		
			23	検索結果に雑誌の最新号があるとき、タイトル一覧画面で該当タイトルが最新号であることがひとめでわかること		
	画面構成・表示			24	大人用・子供用の画面を用意し、利用者が使いやすい機能であること	
				25	画面を触らない時間（任意設定）が一定を過ぎたら、お知らせ等の自動表示、もしくは初期画面に戻る	
				26	一覧表示形式は、タイトル毎に横形式に表示すること	
				27	所蔵一覧から選択した資料に対する配架場所が画像表示できること（複数の館に存在する場合、それぞれの場所を表示できること）	
				28	資料情報詳細欄に表示させる項目・幅・見出しが自由に設定できること	
				29	除籍予定や不明資料などは表示しないこと（状態区分により、任意に設定できること）	
				30	パラメータ管理により、タイトル詳細画面の内容紹介欄の表示を以下の3パターンに設定できること ・内容紹介を非表示にする ・内容紹介が複数あるとき、先頭の1件を表示する ・内容紹介が複数あるとき、紹介データ毎に改行し、すべての内容紹介データを登録順に表示する	
	予約			31	館内OPACから、利用者番号、パスワードの認証により、予約受付が可能なこと	
				32	予約が完了したら認証済み状態ではなくなる	
				33	設定により、未所蔵資料への予約受付ができること	
				34	未所蔵資料への予約受付時に、利用者区分・資料区分ごとで予約可否のチェックが行えること	
				35	貸出中資料に延滞資料がある利用者の予約受付を制限できること	
				36	長期延滞資料（貸出期限から任意期間すぎた資料を長期延滞資料と判断する）のある利用者がさらに一定期間以上資料を返却しなかった場合、延滞資料返却後も一定期間の予約を制限できること	
				37	貸出中資料に延滞かつ予約あり資料がある利用者の予約受付を制限できること	
				38	貸出中資料に督促資料がある利用者の予約受付を制限できること	
				39	あらかじめ設定された連絡方法が登録されていない利用者の予約受付を制限できること	
				40	自館に貸出可能資料があるときに、予約ボタンを表示する/しないを設定できること	
				41	他館に貸出可能資料があるときに、予約ボタンを表示する/しないを設定できること	
				42	複数もしくは単数のタイトルを1回の認証で予約ができること	
				43	タイトル一覧画面で予約ができないタイトルは、複数選択のボタンの選択ができないようになっていること	
				44	タイトル一覧画面で複数のタイトルを選択したとき、ページを移動しても選択したタイトルは記憶していること	
				45	予約受付時に、予約受渡館、連絡方法、連絡メモを入力可能なこと	
				46	予約受付時の、予約受渡館、連絡方法、連絡メモを省略可能なこと	
				47	予約受付時の、予約受渡館は利用者区分・利用者貸出形態区分の組み合わせごとに設定された受渡館を表示できること これにより特定の利用者だけに受渡館に宅配サービス表示する等の制御が可能なこと	
				48	連絡方法は利用者区分毎に選択できる連絡方法を制御できること	
				49	予約受渡のサービスポイントを受渡場所グループと受取場所の二段階で管理し、予約処理時に受取場所を選びやすくできること	
				50	選択したグループに属する受取場所が1つしか存在しない場合、自動的に受取場所の選択画面をスキップして次の画面に遷移できること	
				51	予約後、受渡場所を利用者自身で変更できること	

大分類	小分類	処理機能	項目	要求機能	対応
			52	検索した資料が貸出中もしくは他館にある場合はOPACから予約をかけることができること（利用者番号とパスワードを入力すること）	
			53	館内OPACからの予約変更・取り消しの履歴は、職員業務端末で抽出・印刷ができること	
		セット予約	54	予約の優先順位を設定するセット予約が可能で、上下巻等の巻号管理を行えること	
		貸出・返却	55	バーコードリーダーを設置することによって、利用者自身が貸出・返却手続きを行えること	
			56	住基利用者カードを図書利用券として活用できること 非接触型のICカードリーダーにかざすことで、簡単に図書を借りることができること	
		パスワード登録	57	OPACから、新規にパスワード登録、申し込みが可能なこと	
			58	新規パスワード登録時に、既にパスワードを登録済みの利用者が、新規パスワードを登録できるか、登録できないかをシステムで選択できること	
			59	新規パスワード登録時には、利用者番号、氏名（カナ）、生年月日、電話番号で認証すること	
			60	新規パスワード登録時に、年齢で登録を制限できること	
			61	新規パスワード登録時には、利用者番号、氏名（カナ）、電話番号等で認証すること	
			62	新規パスワード登録時、氏名（カナ）を清音化してチェックできること 例）入力文字「ジュンコ、シュンゴ、シュンコ、シュンコ・・・」を清音「シュンコ」と見なす	
		利用状況照会	63	利用者が現在借りている資料が一覧で確認できること	
			64	延滞ペナルティ（予約・貸出制限）期間中利用者に対し、利用状況照会画面に利用停止メッセージを表示できること	
			65	利用者が現在借りている資料について延長処理ができること （利用者および資料の状態が延長可能条件を満たした場合に限る）	
			66	返却期限が過ぎている貸出中資料は延長を制限できること	
			67	返却期限が過ぎていて、かつ予約がある貸出中資料は延長を制限できること	
			68	督促がされた貸出中資料は延長を制限できること	
			69	貸出中資料が借受資料の時は延長を制限できること	
			70	他の利用者が予約しているタイトルは延長を制限できること	
			71	返却期限が過ぎている貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長を制限できること	
			72	返却期限が過ぎていて、かつ予約がある貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長が制限できること	
			73	督促がされた貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長を制限できること	
			74	利用者が現在借りている資料一覧をレシート印刷できること	
			75	利用者が予約中の資料と予約確保されている資料が一覧で確認できること	
			76	利用者自身が予約を解除せずに予約割当のみを解除できること	
			77	取消された予約資料が一覧で確認できること	
			78	利用者が予約中の資料と予約確保されている資料を同じ画面で一覧表示するか別々の画面で表示するかをあらかじめ設定できること また、同じ画面で一覧表示する場合は予約確保されている資料が一覧の上に表示できること	
			79	利用者が予約中の資料について、旅行等のため不在の間、一時的に割当の保留登録ができ、また、元に戻すことができること	
			80	利用者が予約中の資料について予約取消ができること	
			81	利用者が予約中のリクエスト資料については予約取消ができないようにすること	
			82	利用者が照会した予約一覧をレシート印刷できること	
			83	利用者認証時に、有効期限が過ぎている利用者のログインを制限できること	
			84	利用者認証時に、延滞資料が存在する利用者には延滞警告メッセージを表示できること	
		利用情報変更	85	利用者のパスワードおよびメールアドレスの変更が可能なこと	
			86	メールアドレスの変更時はメールアドレスフォーマットの確認をおこない、フォーマット不正の場合にはエラーメッセージが表示できること	
		利用者機能	87	利用者認証は、利用者番号、パスワードにより可能とすること	
			88	利用者認証時に、利用停止・除籍予定の利用者のログインを制限できること	
			89	利用者認証時に、有効期限が過ぎている利用者のログインを制限できること	
			90	利用者認証時に長期未利用利用者のログインを制限できること	
		検索結果印刷	91	検索一覧の印字、資料詳細情報の印字が可能なこと（レシートプリンタ等）	
			92	一画面で、印刷ボタンは1回しか押せないようにできること（連打防止の機能を有すること）	
			93	自館所蔵資料がないときは印刷ボタンを表示しないようにできること	
			94	自館に利用可能資料がないときは印刷ボタンを表示しないようにできること	
			95	所蔵情報の明細は自館所蔵のみに限定できること	
			96	所蔵情報の明細は自館利用可能資料のみに限定できること	
			97	配架図画像が印刷できること	
		レシート印刷	98	館内OPACから予約受付票をレシートに印刷できること	
			99	館内OPACから在架場所一覧をレシートに印刷できること また在架場所を配架図としてイメージ印刷できること	
			100	予約受付票には予約した利用者について以下の情報が出力できること 利用者バーコード/利用者番号/利用者漢字/利用者カナ/予約受渡館/予約受渡SP/予約連絡方法	
			101	予約受付票には予約した資料について以下の情報が出力できること 資料バーコード/資料番号/タイトル/著者/出版社/出版年/ページ数/価格/請求記号	
			102	予約状況レシートに以下の情報が出力できること 発行日/利用者番号/タイトル/予約日/受渡館/予約順位	
			103	次のレシートに任意に登録した画像を印字できること 返却期限票/利用者番号通知票/資料レシート/書誌レシート/予約状況レシート/タイトル一覧レシート	
			104	レシートに印字する画像は複数登録でき、順番に印刷できること	
			105	印字期間を登録し、開始/終了の管理ができること	
		お知らせ	106	催し物表示ができること	
			107	テーマ毎に集めた資料や紹介したい資料を図書館からのおすすめ本として表示できること	
			108	案内お知らせ機能で、図書館カレンダー情報を館毎にカレンダー形式で表示できること（システムと連動して自動的に表示できること）	
			109	新着資料・新刊資料・貸出ベスト資料・予約ベスト資料の表示機能があること（予め設定した条件・抽出サイクルにより自動作成されること）	
			110	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベスト資料・おすすめ本は一覧を表示するだけでなく、一覧をタッチすることにより資料の詳細情報へ移り、資料の状態を確認、予約入力画面へ移ることができること	
			111	現在（データ抽出処理時点）の予約件数が多いタイトルの一覧を表示する、予約ランキング一覧を表示できること	
			112	利用者認証時に、有効期限日を過ぎているもしくは期限日間近の利用者に対しメッセージを表示できること	
			113	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベスト・予約ランキングの各データはあらかじめ設定された条件および処理サイクルに従ってサーバー上で自動作成されること このとき、業務端末は起動していなくてもよいこと	

大分類	小分類	処理機能	項目	要求機能	対応						
		統計処理	114	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベスト・予約ランキングの各データは業務端末上で手動で作成することもできること							
			115	館内OPACのアクセス統計がとれること							
			116	館内OPACのページ別にアクセス統計をとることができること							
			117	館内OPACのアクセス統計は、期間指定により曜日、自館別の集計を行うことができること							
			1	読書推進機能として、期間と貸出数目標値をパラメータで指定、達成状況を確認できる機能を用意すること							
読書推進ソリューション	読書マラソン		2	達成状況はグラフ等の視覚的な表示ができること							
			3	図書館が設定したイベントとして読書マラソン大会を開催できること							
			4	読書マラソン大会は利用者区分・地区コード・年齢によって参加対象を制限することができること							
			5	読書マラソン大会の利用者毎の状況をシートに出力できること							
			1	インターネット蔵書検索が可能なこと							
Web蔵書検索システム		全般	2	Webサーバ上に公開データベースを持ち、検索ができること							
			3	蔵書検索はパソコンだけでなく、スマートフォンからも検索ができること							
			4	フリーワード検索は全文検索エンジンを採用していること							
			5	簡単な検索画面と詳細な検索条件を指定できること 両方の画面があること							
			6	フリーワードによる検索時、条件を空白で区切って複数入力することによりAND/ORによる複合検索ができること							
			7	フリーワードによる検索時、NOTによる複合検索ができること							
			8	資料種別（図書・雑誌・AV（CD・ビデオ・DVD等））または全資料より選択して検索できること							
			9	雑誌は雑誌タイトル毎に「スポーツ」等のジャンルが設定でき、ジャンル選択によるタイトル一覧が表示できること							
			10	雑誌のジャンルが設定でき、1つの雑誌タイトルに複数のジャンルを設定できること							
			11	資料名（3項目以上の複合検索が可能なこと）、人名（同左）による検索のほか、出版者・発行者・件名・NDC分類・受賞名・ISBN・出版年月による範囲指定が可能なこと（フリーワード全文検索機能を有すること）							
			12	検索結果一覧として、以下の項目（該当件数・現在頁数および全体頁数）・順番・資料名・人名・出版社・分類・出版年月等）を表示できること							
			13	一覧表示数は3頁に30件を標準とし、25件・50件・300件と選択可能なこと							
			14	詳細表示として以下の項目（書誌データとしては資料名・人名・出版社・出版年月・頁数・サイズ・価格・ISBN・分類・件名・注記・内容細目・内容紹介・著者紹介・利用対象等、ローカルデータとしては所在館・保管場所・種別・請求記号・資料番号・貸出区分等）を表示できること							
			15	WebOPAC書誌詳細画面は、ルール化されたURLにアクセスすることで、図書館ホームページ等から該当資料の書誌詳細画面を直接開くことができること							
			16	検索条件入力画面、検索結果一覧画面でソート条件（タイトル、人名、出版者等）を選択することによって、検索結果を条件順に表示できること							
			17	検索対象とする館を複数選択した上で検索できること							
			18	検索中断ボタンにより検索処理の中断ができること							
			19	検索結果の一覧表示時に、検索キーワードをハイライト表示できること							
			20	資料データの状態（貸出状態、予約状態、資料状態）は業務サーバと連携し、リアルタイムに検索結果に反映されること							
			21	検索結果一覧、詳細画面で著者をクリックすることにより、選択した著者で再検索できること							
			22	検索結果一覧、詳細画面で叢書名をクリックすることにより、選択した叢書名で再検索できること							
			23	発注中の資料をWebOPACで公開でき、検索/予約の対象にできること							
			24	検索結果に発注中の資料があるとき、タイトル一覧画面で資料状態が発注中であることがひとめでわかること							
			25	検索結果に雑誌の最新号があるとき、タイトル一覧画面で該当タイトルが最新号であることがひとめでわかること							
			画面構成・表示			26	パラメータ管理により、タイトル詳細画面の内容紹介欄の表示を以下の3パターンに設定できること ・内容紹介を非表示にする ・内容紹介が複数あるとき、先頭の1件を表示する ・内容紹介が複数あるとき、紹介データ毎に改行し、すべての内容紹介データを登録順に表示する				
						27	所蔵一覧から選択した資料に対する配架場所が画像表示できること（複数の館に存在する場合、それぞれの場所を表示できること）				
			予約			28	予約システムを提供し図書館システムとシームレスな連携が可能なこと（予約データはリアルタイムに業務サーバに反映されること）				
						29	予約カート方式であること				
						30	予約上限チェック（Web+図書館基本システム）が可能なこと				
						31	PCブラウザ用画面にて利用者がログアウトした時やブラウザ画面を閉じた時にカート情報が削除されること また、カート登録はログインしないといけないものとした場合は予約カート情報をサーバ側に保持できること				
						32	予約などの認証時に使用するパスワード保護対策として、一定回数連続で認証に失敗すると、設定された時間はログインを制限することができること				
						33	予約に際しては、利用者番号およびあらかじめ利用者に付与したパスワードによる認証を行うこと 予約受取館の設定ができ、予約資料が準備できた際に、メールによる通知が可能であること				
						34	設定により、未所蔵資料への予約受付ができること				
						35	未所蔵資料への予約受付時に、利用者区分・資料区分ごとで予約可否のチェックが行えること				
						36	利用停止や除籍予定の利用者の予約受付を制限できること				
						37	貸出中資料に延滞資料がある利用者の予約受付を制限できること				
						38	長期延滞資料（貸出期限から任意期間すぎた資料を長期延滞資料と判断する）のある利用者がさらに一定期間以上資料を返却しなかった場合、延滞資料返却後も一定期間の予約を制限できること				
						39	貸出中資料に延滞かつ予約あり資料がある利用者の予約受付を制限できること				
						40	貸出中資料に督促資料がある利用者の予約受付を制限できること				
						41	あらかじめ設定された連絡方法が登録されていない利用者の予約受付を制限できること				
						42	予約受付時の連絡方法登録は、利用者区分毎に選択できる連絡方法を制御できること				
						43	予約受付時の、予約受渡館は利用者区分・利用者貸出形態区分の組み合わせごとに設定された受渡館を表示できること これにより特定の利用者のみを受渡館に宅配サービス表示する等の制御が可能なこと				
						44	予約受渡のサービスポイントを受渡場所グループと受取場所の二段階で管理し、予約処理時に受取場所を選びやすくできること				
						45	予約受渡のサービスポイントを選択するとき、選択したグループに属する受取場所が1つしか存在しない場合、自動的に受取場所の選択画面をスキップして次の画面に遷移できること				
						46	予約後、受渡場所を利用者自身で変更できること				
						47	WebOPACからの予約変更・取り消しの履歴は、職員業務端末で抽出・印刷ができること				
						セット予約			48	予約の優先順位を設定するセット予約が可能で、上下巻等の巻号管理を行えること	

大分類	小分類	処理機能	項目	要求機能	対応
		お気に入り登録	49	資料詳細から、お気に入り資料の登録が可能なこと	
		パスワード登録	50	WebOPACから、新規にパスワード登録、申し込みが可能なこと	
			51	新規パスワード登録時に、既にパスワードを登録済みの利用者が、新規パスワードを登録できるか、登録できないかをシステムで選択できること	
			52	新規パスワード登録時に、年齢で登録を制限できること	
			53	新規パスワード登録時には、利用者番号、氏名(カナ)、電話番号等で認証すること	
			54	新規パスワード登録時、氏名(カナ)を清音化してチェックできること 例) 入力文字「ジュンコ、シュンゴ、シュンコ、シュンコ・・・」を清音「シュンコ」と見なす	
			利用状況照会	55	利用者の貸出状況・予約状況という利用状況にあわせ、利用照会メニュー、図書館カレンダーや新着資料一覧などをまとめてポータル画面等で確認できること
			56	利用者認証時に、延滞資料が存在する利用者に延滞警告メッセージを表示できること	
			57	延滞ペナルティ(予約・貸出制限)期間中利用者に対し、利用状況照会画面に利用停止メッセージを表示できること	
			58	利用者が現在借りている資料が一覧で確認できること	
			59	返却期限が過ぎている貸出中資料は延長を制限できること	
			60	返却期限が過ぎていて、かつ予約がある貸出中資料は延長を制限できること	
			61	督促がされた貸出中資料は延長を制限できること	
			62	貸出中資料が借受資料の時は延長を制限できること	
			63	他の利用者が予約しているタイトルは延長を制限できること	
			64	返却期限が過ぎている貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長を制限できること	
			65	返却期限が過ぎていて、かつ予約がある貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長が制限できること	
			66	督促がされた貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長を制限できること	
			67	利用者が予約中の資料と予約確保されている資料が一覧で確認できること	
			68	利用者自身が予約確保されている資料を予約そのものを解除せずに予約確保状態のみ解除できること (利用者が確保期間中に図書館へ訪問できない都合がある場合を想定)	
			69	利用者が予約中の資料と予約確保されている資料を同じ画面で一覧表示できること また、予約確保されている資料が一覧の上に表示できること	
			70	利用者が予約中の資料について、旅行等のため不在の間、一時的に割当の保留登録ができ、また、元に戻すことができること	
			71	利用者が予約中の資料について予約取消ができること	
			72	利用者が予約中のリクエスト資料については取消ができないようにすること	
			73	利用照会の貸出状況表示画面において、返却期限を超過している明細に期限が超過していることを通知するアイコンとメッセージを表示できること	
			74	利用照会の予約確保資料一覧に引取期限日を表示できること	
			75	貸出・予約・予約確保の一覧画面にて、タイトルから1クリックで書誌詳細画面へ遷移できること	
			76	貸出中資料の延長は任意の1点または複数冊を選択して行えること	
		雑誌一覧表示	77	雑誌の一覧表示機能があること	
			78	刊行頻度を表示可能であること	
			79	雑誌情報は、図書館で任意に修正可能であること	
			80	雑誌一覧から雑誌を選択することにより、その雑誌の所蔵一覧へ移り、さらに資料を選択することにより資料の詳細情報を表示し、資料の状態を確認、予約入力画面へ移ることができること	
			81	雑誌一覧から非表示とする雑誌タイトルを任意で設定できること	
		利用者登録情報変更	82	E-Mail、パスワードの登録内容の変更が行えること また、E-Mail変更時及び新規パスワード登録でのE-mail登録時は確認メールを送信し、記載されたURLにアクセスすることでE-mail変更を確定できること	
			83	メールアドレスの変更時はメールアドレスフォーマットの確認をおこない、フォーマット不正の場合にはエラーメッセージが表示できること	
			84	予約時の予約受渡館の初期値を登録することができること	
			85	予約時の連絡方法の初期値を登録することができること	
			86	返却お知らせメールの受信選択が登録できること	
		利用者機能	87	予約資料の選択はカート方式を採用し、複数冊を予約カートに登録し、1回の認証にて、複数冊の予約を行うことができること	
			88	予約カートは追加、削除を可能とすること	
			89	予約認証はカートに登録後、本予約実行時に、利用者番号、パスワードにより可能とすること	
			90	利用者認証は、利用者番号、パスワードにより可能とすること	
			91	利用者認証時に、利用停止・除籍予定の利用者のログインを制限できること	
			92	利用者認証時に、有効期限が過ぎている利用者のログインを制限できること	
			93	利用者認証時に長期未利用利用者のログインを制限できること	
			94	利用者認証時に、特定の利用者コメント(忘れ物があります、取り置き資料あり等)を通知できること	
		お知らせ	95	図書館カレンダー情報を館別にカレンダー形式で表示できること(業務システムに登録したカレンダーから抽出できること)	
			96	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベスト・おすすめ本のリストが表示でき、一覧を選択することにより資料の詳細情報へ移り、資料の状態を確認、予約入力画面へ移ることができること	
			97	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベストはOPACのデータ作成時と同時に作成されること	
			98	お知らせ表示機能があること	
			99	図書館がデジタルカメラ等で撮影した画像を掲示可能であること	
			99	利用者認証時に、有効期限日を過ぎているもしくは期限日間近の利用者に対しメッセージを表示できること	
			100	子ども向けのお知らせ・検索等の機能があること	
			101	資料詳細画面で、予約ができない書誌の場合は「予約受付」ボタンを非表示とし、予約不可理由をメッセージで表示できること	
			102	資料詳細画面の複数一覧表示にて、資料種別、保管場所、所蔵館、所在館名称の表示文字数を任意に設定できること	
			103	資料詳細画面にて、雑誌の最新刊号は予約受付ボタンを非表示とし、最新刊のため予約できないことを通知するメッセージが表示できること	
			104	WebOPACに表示するお知らせの期間を任意に設定できること	
			105	現在(データ抽出処理時点)の予約件数が多いタイトルの一覧を表示する、予約ランキング一覧を表示できること	
		統計処理	106	WebOPACのアクセス統計がとれること	
			107	WebOPACのページ別にアクセス統計をとることができること	
			108	アクセス統計は、期間指定により曜日、ページ毎の集計を行うことができること	
			109	アクセスログを端末種類(PC/スマートフォン等)で分類して集計出力することができること	
		外部サイト連携	110	外部サイトと連携し、書影が表示できること	
			111	書影はGoogleBooks及びAmazonサイト両社から選択可能なこと	
			112	WebOPACの書誌詳細画面にISBNを使用した外部サイトへのリンクを作成すること	

大分類	小分類	処理機能	項目	要求機能	対応	
読書推進ソリューション	My本棚		113	外部サイト連携はGoogleブックス、Amazon、honto、紀伊国屋書店、楽天ブックス、7net、e-hon、ブログ、カーリル、WebCatPlus、Amazon書評、国立国会図書館のサイトの全ての会社に対応でき、リンクの表示/非表示はそれぞれ選択できること		
			1	利用者の自分用の本棚に任意の書誌を登録できる機能を有すること		
			2	貸出履歴の保存に同意する利用者のみ、貸出履歴を参照できること		
	読書マラソン			3	貸出履歴の保存に同意するかどうかの画面を用意すること	
				4	読書推進機能として、期間と貸出数目標値をパラメータで指定、もしくは利用者が本人で設定し、達成状況を確認できる機能を用意すること	
				5	達成状況はグラフ等の視覚的な表示ができること	
				6	図書館が設定したイベントとして読書マラソン大会を開催できること	
スマホ蔵書検索システム	全般		7	読書マラソン大会は利用者区分・地区コード・年齢によって参加対象を制限することができること		
			1	スマートフォン（iOSおよびAndroid）のブラウザに最適化された画面で、蔵書検索が可能なこと		
			2	Webサーバ上に公開データベースを持ち、検索ができること		
	検索			3	スマートフォン向けに蔵書公開が可能なこと（フリーワード検索、貸出ベスト・予約ベストの表示が可能なこと）	
				4	フリーワード検索は全文検索エンジンを採用していること	
				5	簡単な検索画面と詳細な検索条件を指定できること 両方の画面があること	
				6	フリーワードによる検索時、条件を空白で区切って複数入力することによりANDによる複合検索ができること	
				7	フリーワードによる検索時、NOTによる複合検索ができること	
				8	資料種別（図書・雑誌・AV（CD・ビデオ・DVD等））または全資料より選択して検索できること	
				9	詳細検索では、キーワード・書名・著者名・受賞名・所蔵館・所在館・資料区分・資料種別・出版年月による範囲指定が可能なこと（フリーワード全文検索機能を有すること）	
				10	雑誌は雑誌タイトル毎に「スポーツ」等のジャンルが設定でき、ジャンル選択によるタイトル一覧が表示できること	
				11	雑誌のジャンルが設定でき、1つの雑誌タイトルに複数のジャンルを設定できること	
				12	検索結果一覧として、以下の項目（タイトル、サブタイトル、著者名、出版者、出版年等）を表示できること	
				13	検索結果一覧として、資料状態（貸出可能、他館貸出可能、貸出中、発注中、貸出禁止等）がひとめでわかること	
				14	一覧表示数は1頁に10件とすること	
				15	詳細表示として以下の項目（タイトル、サブタイトル、著者名、出版者、出版年、ISBN、内容紹介、蔵書数、予約数、貸出可能数、貸出数、蔵書館名、蔵書場所（請求記号）、蔵書種別、蔵書状態等）を表示できること	
				16	検索条件入力画面でソート条件（タイトル順、著者名順、出版年順、分類順）を選択することによって、検索結果を条件順に表示できること	
				17	検索対象とする館を選択した上で検索できること	
				18	検索中断ボタンにより検索処理の中断ができること	
				19	資料データの状態（貸出状態、予約状態、資料状態）は業務サーバと連携し、リアルタイムに検索結果に反映されること	
				20	詳細画面で著者をクリックすることにより、選択した著者で再検索できること	
				21	発注中の資料をスマートフォンOPACで公開でき、検索/予約の対象にできること	
				22	検索結果の一覧表示時に、検索キーワードをハイライト表示できること	
23	検索結果に雑誌の最新号があるとき、タイトル一覧画面で該当タイトルが最新号であることがひとめでわかること					
画面構成・表示			24	パラメータ管理により、タイトル詳細画面の内容紹介欄の表示を以下の2パターンに設定できること ・内容紹介を非表示にする ・内容紹介が複数あるとき、紹介データ毎に改行し、すべての内容紹介データを登録順に表示する		
			25	画面の縦長・横長の向きに応じた画面レイアウトであること		
予約			26	予約システムを提供し図書館システムとシームレスな連携が可能なこと（予約データはリアルタイムに業務サーバに反映されること）		
			27	予約カート方式であること		
			28	予約上限チェック（OPAC+図書館基本システム）が可能なこと		
			29	スマートフォンブラウザにてブラウザ画面を閉じた時にカート情報が削除されること また、カート登録はログインしないとできないものとした場合は予約カート情報をサーバ側に保持できること		
			30	予約などの認証時に使用するパスワード保護対策として、一定回数連続で認証に失敗すると、設定された時間はログインを制限することができること		
			31	予約に際しては、利用者番号およびあらかじめ利用者に付与したパスワードによる認証を行うこと予約受取館の設定ができ、予約資料が準備できた際に、メールによる通知が可能であること		
			32	設定により、未所蔵資料への予約受付ができること		
			33	未所蔵資料への予約受付時に、利用者区分・資料区分ごとで予約可否のチェックが行えること		
			34	貸出中資料に延滞資料がある利用者の予約受付を制限できること		
			35	長期延滞資料（貸出期限から任意期間すぎた資料を長期延滞資料と判断する）のある利用者がさらに一定期間以上資料を返却しなかった場合、延滞資料返却後も一定期間の予約を制限できること		
			36	貸出中資料に延滞かつ予約あり資料がある利用者の予約受付を制限できること		
			37	貸出中資料に督促資料がある利用者の予約受付を制限できること		
			38	あらかじめ設定された連絡方法が登録されていない利用者の予約受付を制限できること		
			39	予約受付時の連絡方法登録は、利用者区分毎に選択できる連絡方法を制御できること		
40	予約受付時の、予約受渡館は利用者区分・利用者貸出形態区分の組み合わせごとに設定された受渡館を表示できること これにより特定の利用者の方に受渡館に宅配サービス表示する等の制御が可能なこと					
41	予約受渡のサービスポイントを受渡場所グループと受取場所の二段階で管理し、予約処理時に受取場所を選びやすくできること					
42	予約受渡のサービスポイントを選択するとき、選択したグループに属する受取場所が1つしか存在しない場合、自動的に受取場所の選択画面をスキップして次の画面に遷移できること					
43	予約後、受渡場所を利用者自身で変更できること					
44	WebOPACからの予約変更・取り消しの履歴は、職員の業務端末で抽出・印刷ができること					
セット予約			45	予約の割当に優先順位を、利用者が簡易な操作で指定できること		
			46	予約の優先順位を設定するセット予約が可能で、上下巻等の巻号管理を行えること		
お気に入り登録			47	資料詳細から、お気に入り資料の登録が可能なこと		
パスワード登録			48	スマートフォンOPACから、新規にパスワード登録、申し込みが可能なこと		
			49	新規パスワード登録時に、年齢で登録を制限できること		
			50	新規パスワード登録時に、既にパスワードを登録済みの利用者が、新規パスワードを登録できるか、登録できないかをシステムで選択できること		
			51	新規パスワード登録時には、利用者番号、氏名（カナ）、電話番号等で認証すること		

大分類	小分類	処理機能	項目	要求機能	対応
			52	新規パスワード登録時、氏名(カナ)を清音化してチェックできること 例) 入力文字「ジュンコ、シュンゴ、シュンコ、シュンコ・・・」を清音「シュンコ」と見なす	
		利用状況照会	53	利用者の貸出状況・予約状況という利用状況にあわせ、利用照会メニュー、図書館カレンダーや新着資料一覧などをまとめてポータル画面等で確認できること	
			54	利用者認証時に、延滞資料が存在する利用者に延滞警告メッセージを表示できること	
			55	延滞ペナルティ(予約・貸出制限)期間中利用者に対し、利用状況照会画面に利用停止メッセージを表示できること	
			56	利用者が現在借りている資料が一覧で確認できること	
			57	利用者が現在借りている資料について延長処理ができること (利用者および資料の状態が延長可能条件を満たした場合に限る)	
			58	返却期限が過ぎていて貸出中資料は延長を制限できること	
			59	返却期限が過ぎていて、かつ予約がある貸出中資料は延長を制限できること	
			60	督促がされた貸出中資料は延長を制限できること	
			61	貸出中資料が借受資料の時は延長を制限できること	
			62	他の利用者が予約しているタイトルは延長を制限できること	
			63	返却期限が過ぎていて貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長を制限できること	
			64	返却期限が過ぎていて、かつ予約がある貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長が制限できること	
			65	督促がされた貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長を制限できること	
			66	利用者が予約中の資料と予約確保されている資料が一覧で確認できること	
			67	利用者自身が予約を解除せずに予約割当のみを解除できること	
			68	取消された予約資料が一覧で確認できること	
			69	利用者が予約中の資料と予約確保されている資料を同じ画面で一覧表示するか別々の画面で表示するかをあらかじめ設定できること また、同じ画面で一覧表示する場合は予約確保されている資料が一覧の上に表示できること	
			70	利用者が予約中の資料について、旅行等のため不在の間、一時的に割当の保留登録ができ、また、元に戻すことができること	
			71	利用者が予約中の資料について予約取消ができること	
			72	利用者が予約中のリクエスト資料については取消ができないようにすること	
			73	利用照会の貸出状況表示画面において、返却期限を超過している明細に期限が超過していることを通知するアイコンとメッセージを表示できること	
			74	利用照会の予約確保資料一覧は予約確保されている資料が一覧の上に表示できること	
			75	利用照会の予約確保資料一覧に引取期限日を表示できること	
			76	貸出・予約・予約確保の一覧画面にて、タイトルから1クリックで書誌詳細画面へ遷移できること	
			77	貸出中資料の延長は任意の1点または複数冊を選択して行えること	
		雑誌一覧表示	78	雑誌の一覧表示機能があること	
			79	雑誌情報は、図書館で任意に修正可能であること	
			80	雑誌一覧から雑誌を選択することにより、その雑誌の所蔵一覧へ移り、さらに資料を選択することにより資料の詳細情報を表示し、資料の状態を確認、予約入力画面へ移ることができること	
		利用者登録情報変更	81	E-Mail、パスワードの登録内容の変更が行えることまた、E-Mail変更時及び新規パスワード登録でのE-mail登録時は確認メールを送信し、記載されたURLにアクセスすることでE-mail変更を確定できること	
			82	メールアドレスの変更時はメールアドレスフォーマットの確認をおこない、フォーマット不正の場合にはエラーメッセージが表示できること	
			83	予約時の予約受渡館の初期値を登録することができること	
			84	予約時の連絡方法の初期値を登録することができること	
			85	返却お知らせメールの受信選択が登録できること	
		利用者機能	86	予約資料の選択はカート方式を採用し、複数冊を予約カートに登録し、1回の認証にて、複数冊の予約を行うことができること	
			87	予約カートは追加、削除を可能とすること	
			88	予約認証はカートに登録後、本予約実行時に、利用者番号、パスワードにより可能とすること	
			89	利用者認証は、利用者番号、パスワードにより可能とすること	
			90	利用者認証時に、利用停止・除籍予定の利用者のログインを制限できること	
			91	利用者認証時に、有効期限が過ぎている利用者のログインを制限できること	
			92	利用者認証時に長期未利用利用者のログインを制限できること	
			93	利用者認証時に、特定の利用者コメント(忘れ物があります、取り置き資料あり等)を通知できること	
		お知らせ	94	図書館カレンダー情報を館別にカレンダー形式で表示できること(業務システムに登録したカレンダーから抽出できること)	
			95	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベスト・おすすめ本のリストが表示でき、一覧を選択することにより資料の詳細情報へ移り、資料の状態を確認、予約入力画面へ移ることができること	
			96	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベストはOPACのデータ作成時と同時に作成されること	
			97	お知らせ表示機能があること 図書館がデジタルカメラ等で撮影した画像を掲示可能であること	
			98	資料詳細画面で、予約ができない書誌の場合は「予約受付」ボタンを非表示とし、予約不可理由をメッセージで表示できること	
			99	資料詳細画面の複数一覧表示にて、資料種別、保管場所、所蔵館、所在館名称の表示文字数を任意に設定できること	
			100	資料詳細画面にて、雑誌の最新刊号は予約受付ボタンを非表示とし、最新刊のため予約できないことを通知するメッセージが表示できること	
			101	現在(データ抽出処理時点)の予約件数が多いタイトルの一覧を表示する、予約ランキング一覧を表示できること	
			102	利用者認証時に、有効期限日を過ぎているもしくは期限日間近の利用者に対しメッセージを表示できること	
		統計処理	103	スマートフォンOPACのアクセス統計がとれること	
			104	アクセス統計は期間を指定した場合、時間別または曜日別のアクセス数を、時間別またはページ別に集計することができること	
		外部サイト連携	105	外部サイトと連携し、書影が表示できること	
			106	書影はGoogleBooks及びAmazonサイト両社から選択可能なこと	
			107	WebOPACの書誌詳細画面にISBNを使用した外部サイトへのリンクを作成すること	
			108	外部サイト連携はGoogleブックス、Amazon、honto、紀伊国屋書店、楽天ブックス、7net、JUNKUDO、e-hon、ブックログ、メディアマーカー、カーリル、WebCatPlus、Amazon書評、国立国会図書館のサイトの全ての会社に対応でき、リンクの表示/非表示はそれぞれ選択できること	
	読書推進ソリューション	My本棚	1	利用者の自分用の本棚に任意の書誌を登録できる機能を有すること	
			2	貸出履歴の保存に同意する利用者のみ、貸出履歴を参照できること	
			3	貸出履歴の保存に同意するかどうかの画面を用意すること	
		読書マラソン	4	読書推進機能として、期間と貸出数目標値をパラメータで指定、もしくは利用者が本人で設定し、達成状況を確認できる機能を用意すること	
			5	達成状況はグラフ等の視覚的な表示ができること	

大分類	小分類	処理機能	項目	要求機能	対応
帳票・統計		帳票全般	6	図書館が設定したイベントとして読書マラソン大会を開催できること	
			7	読書マラソン大会は利用者区分・地区コード・年齢によって参加対象を制限することができること	
			1	随時作成でき、日報、月報、年報はリアルタイムに処理可能であること また、日報は当日中に出力できること	
			2	各種統計帳票については、対象となる統計帳票、抽出条件、実行サイクルを設定する等により、印刷データを自動作成することができること 自動作成した印刷データは任意に参照でき、印刷することができること	
			3	基本的にA4サイズで統一していること	
			4	抽出条件、打ち出し順の選択の幅が広いこと	
			5	印字途中での中断、取消、保留、継続が選択できること また、利用者リストなど、大量（30,000件以上）のリスト出力を可能とすること	
			6	基本的に罫線付きであること	
			7	プレビュー機能で画面で確認できること	
			8	以下の帳票等が印字できること	
				貸出票	
				貸出資料一覧	
				予約者連絡表（返却）	
				利用者リスト	
				多重登録利用者リスト	
				団体利用者リスト	
				未利用者リスト	
				督促リスト	
				督促はがき	
				督促連絡依頼票	
				長期延滞資料リスト	
				資料検索結果図書一覧	
				資料検索結果図書目録	
				新刊選書リスト	
				発注済新刊選書リスト	
				注文リスト	
				雑誌受入れ予定リスト	
				受入れリスト	
				未納品リスト	
				新着資料リスト	
				新刊リスト	
				雑誌受入れリスト	
				予算執行状況リスト	
				発注金額集計リスト	
				受入れ金額集計リスト	
				図書書名目録	
				図書著者名目録	
				図書分類目録	
				図書件名目録	
				雑誌タイトルリスト	
				AVタイトル順目録	
				AV人名順目録	
				AV分類目録	
				AV件名目録	
				人名典拠リスト	
				出版者典拠リスト	
				件名典拠リスト	
	図書原簿				
	除籍予定リスト				
	雑誌一括除籍予定リスト				
	除籍リスト				
	除籍原簿				
	未利用資料リスト				
	蔵書点検エラーリスト				
	蔵書点検もれリスト				
	不明資料リスト				
	利用統計日報				
	利用統計月報				
	利用統計年報				
	相互貸借月報				
	相互貸借年報				
	曜日別利用統計年報				
	地区別利用登録者集計				
	地区別利用冊数				
	団体貸出年報				
	雑誌別貸出冊数集計				
	蔵書統計年報				
	受払年報				
	自由帳票では帳票の集計条件指定・改ページ条件指定や帳票出力項目の出力行・出力列指定ができること また指定した条件を保存し、再度同じ条件で帳票作成することができること				
	ベストリーダー				
	予約ベスト				
	AV利用状況リスト				
	雑誌別予約件数集計				
	貸出予約状況年報				
	広域利用統計				
	資料回送統計				
	蔵書点検発見資料リスト				
	分類別蔵書冊数集計				
	保管場所別蔵書冊数集計				
	特殊貸出統計				
	再発行利用者リスト				
	除籍利用者リスト				
	寄贈資料リスト				
	雑誌JANコードリスト				

大分類	小分類	処理機能	項目	要求機能	対応
			蔵書場所別種別統計		
			移動統計年報		
			移動統計月報		
			移動統計日報		
			地区別予約件数集計		
			予約在庫リスト		
			請求記号別貸出冊数集計		
			請求記号別予約冊数集計		
			地区別パスワード登録集計		
			時間帯別利用統計		
			公共図書館調査票		
			コメント別利用者リスト		
			受取館別予約統計		
			雑誌タイトル別貸出ベスト		
			雑誌タイトル別統計		

別紙3 データセンターの設備要件

データセンターの設備要件について下記要領で記入すること。
 対応「○」、対応不可「×」を区分して、「対応」欄に記入すること。
 重点の項目に※印があるものについては重点要件とする。

業務	機能	項番	説明	重点	対応	備考
セキュリティ	警備員の配置	1	警備員が常時（365日、24時間）配置されていること	※		
		2	IDカード認証と生体認証等の二要素以上により、入退出管理が行われていること	※		
	入退出管理	3	業者のサーバ室への入退出については、氏名管理が行われていること。	※		
		4	入退出マニュアルが明示されていること			
		5	入退出管理記録データについては、提出が可能なこと			
		6	非常時の物理的な鍵の管理が十分になされていること			
		7	不法侵入者を感知した場合、警備会社等に通報されること	※		
		8	監視カメラ等により24時間監視を行うこと	※		
		9	監視カメラによる監視範囲（サーバ室及び入退室経路）のカバーは100%であること	※		
		10	機器持出し防止等の対策が講じられていること	※		
施設運用	運営者	11	データセンターは契約企業（もしくは100%資本の関係会社）自身が運営していること	※		
	総合監視	12	施設の電源、設備、機器全体の動作状況が常時監視可能な設備を有していること	※		
	設備点検	13	施設点検時に無停電での実施ができること	※		
建築	立地	14	国内に設置されていること	※		
		15	緊急時には保守担当SEが早急に現地対応できること	※		
		16	自治体の洪水ハザードマップで浸水地域に該当しない場所にあること	※		
		17	津波被害の影響を受けない立地であること。また、海岸線からの距離や国、自治体の津波被害想定の上、安全な場所であること	※		
		18	活断層から一定距離離れていること	※		
	耐震基準	19	昭和56年の新建築基準に準拠し、震度7に耐えうる設計であること	※		
水害対策	20	サーバ室及び回線機器等のスペースについては、水害対策を講じていること	※			
設備	サーバ室	21	本システム関連機器を設置するにあたり、十分な面積を有すること			
	サーバ室内ラック	22	機器及びラック等を設置した上で、空調効率を保持できる室内高を確保していること			
		23	室内の防塵対策が講じられていること			
		24	ラック自体に免震装置等の対策があること	※		
		25	ラックについては、施錠でき、許可されたもの以外は開閉できない仕組みを講じること	※		
	作業スペース	26	システムの保守・運用・管理を行うことが可能なスペースを有すること			
		27	作業に必要な照明及び非常灯を有すること			
		28	構内経路は事故や災害を考慮し、十分なスペースが確保されていること			
	データ保管室	29	データメディア類を適切に保管できる設備を有すること			
	電源設備	30	商用及び自家発電の最低2系統の電源を有していること	※		
		31	停電時には自動的に自家発電へと切替わることで無停止のまま運用継続できること	※		
		32	自家発電装置用の燃料は72時間以上分を備蓄し、無停止運用を継続できること	※		
		33	災害時対応として自家発電装置用の燃料は複数の元売業者と優先供給特約を締結していること	※		
	空調設備	34	サーバ運用に適した空調設備を有すること			
防火・防水設備	35	火災感知設備を有すること	※			
	36	窒素ガス消火設備を有すること	※			
避雷設備	37	避雷設備を有すること	※			
静電気対策	38	静電気対策が講じられていること				
その他	現地視察	39	本設備要件全般において、現地視察して確認が可能なこと	※		

別紙4 図書館システムサービス・セキュリティ要件

図書館システムのサービス要件について下記要領で記入すること。
 対応「○」、対応不可「×」を区分して、「対応」欄に記入すること。
 重点の項目に※印があるものについては重点要件とする。

業務	項番	説明	重点	対応	備考
可用性	職員機能の運用時間	1 全ての開館日、7:30～20:00に使用できること	※		
	市民サービス提供時間	2 計画停止を除く365日24時間サービスを提供できること	※		
	計画停止予定通知	3 最短でも14日前までには必ず通知をすること			
	重大障害時の代替手段	4 重大障害時にもPC単独で貸出業務を継続できること	※		
	計画停止（メンテナンス）	5 計画停止は月1回（最大6時間まで）までとする			
	レベルアップ方針	6 年2回の定期レベルアップを実施することとし、最短でも30日前までに内容を連絡すること。			
	バッチ適用	7 事前に図書館と協議し、適用タイミングを調整すること			
障害対応	データベース	8 RAIDによる二重化等の冗長化を施してあること	※		
	重大障害からの復旧時間	9 アプリケーションレベル（サービス再起動による障害復旧）：1時間以内、それ以外（OS/ハード障害）は48時間以内であること			
	復旧範囲	10 前日閉館状態のバックアップまで復旧できること	※		
	障害通知プロセス	11 緊急時は図書館担当者へ電話連絡すること	※		
性能	オンライン応答時間	12 応答時間は平均1秒以内（貸出）であること			
	大量バッチ処理時間	13 一括登録は6000件/時間以上行えること			
	夜間自動バッチ処理時間（日次、月次）	14 即時処理でない場合、日次、月次とも10分以内に処理されること			
	年次バッチ処理時間	15 即時処理でない場合、年次処理はセンター内で計画実行すること			
拡張性	パラメータ設定	16 各機能はパラメータ設定で業務運用に対する柔軟性と拡張性を持つこと			
	カスタマイズ性	17 MARC変換プログラム、WebOPAC定義体、館内OPACデザイン、各種の文言表現、画像など図書館固有の要件に関しては個別調整の余地を備えること			
	オプション製品追加	18 標準的なオプションシステムの追加においては基幹システムに対する構築作業費用を要さずに導入できること	※		
	外部サービス連携	19 県立図書館の横断検索と連携を図れること	※		
	同時接続利用者数（業務）	20 契約端末ライセンス数まで同時接続可能なこと	※		
	同時接続利用者数（Web）	21 同時接続利用者数は500アクセス以上であること			
	拡張要望への対応	22 年1回以上図書館からの要望を収集し、優先度に基づき順次パッケージ機能の追加開発へと反映させること	※		
センターサポート	受付時間帯	23 WebによるQA受付は24時間365日対応すること			
	対応時間帯	24 受付後は開館日月～金の8:30～17:30に速やかに対応をすること	※		
	対応体制	25 現地担当SEと連携してサポートを行うこと	※		
運用管理	運用者	26 クラウドサービス及びシステム基盤の運用は契約企業（もしくは100%資本の関係会社）自身で運用・保守を実施していること	※		
	稼働監視	27 アプリケーション変更、ポート監視、ハードトラブル監視を行うこと			
	検知時対応	28 異常値やトラブル、ハードウェア故障の予兆を確認した場合は速やかに必要な措置を取れること	※		
	緊急時対応	29 重大障害への対処や緊急性の高いセキュリティ対応が必要な際にパッケージシステム運用担当者が即時対応で駆けつけること	※		
	資源監視	30 サーバの資源使用量を随時監視し、必要に応じて拡張計画を立案し、使用料の範囲で実施すること	※		
データ管理	バックアップ方法	31 日次で自動取得し、センター内にディスク形式で保存すること。アクセス権は運用管理者のみに制限すること			
	バックアップ保存期間	32 3世代以上保存すること			
	統計データ保持期間	33 6年以上保持すること			
	データ管理の開始	34 移行データをセンターDBに格納した時点からサービス開始とすること			
	解約後のデータ消去	35 サービス解約1ヶ月の保持期間の後、完全消去すること	※		
情報保護	脆弱性チェック	36 脆弱性情報を常に収集し、改善事項に対して速やかに対策を講じること	※		
	セキュリティパッチ	37 OS・ミドルウェアのセキュリティパッチを適用し、安全性を保つこと	※		
	ウイルスチェック	38 保護ツールによるリアルタイム対策を行うこと	※		
	情報取得者の制限	39 利用者データにアクセスできる技術者はセキュリティ管理者の許可を得た者に制限し、担当者は個人情報保護に関する教育を定期的受講すること	※		
	情報取扱い環境	40 データ取扱い環境にはICカード・生体認証等による入室制限を行い、高セキュリティが確保された端末以外からアクセスできないようにすること	※		
	通信の暗号化レベル	41 TLS1.0（暗号化強度256ビット）以上で通信すること			
	個人情報の暗号化	42 利用者の個人情報項目はデータベースに暗号化を施すこと	※		
	個人情報アクセスログ取得	43 利用者情報に対する職員の実操作ログを記録し、管理者職員が確認できること	※		
信頼性	情報開示認定制度への登録	44 サービスを行う図書館システムが情報開示認定を受けていること			
	解約時のデータの取扱	45 サービス解約時に図書館からのデータ抽出依頼に関しては無償で応じること	※		
	解約時のデータ抽出作業	46 サービス解約時はデータ抽出作業をサービス範囲内で実施すること 作業は、テスト1回、本番1回の計2回を見込むこと。	※		
	解約時のデータ項目表提示	47 サービス解約時、抽出データの対応項目表をサービス範囲内で提示すること	※		